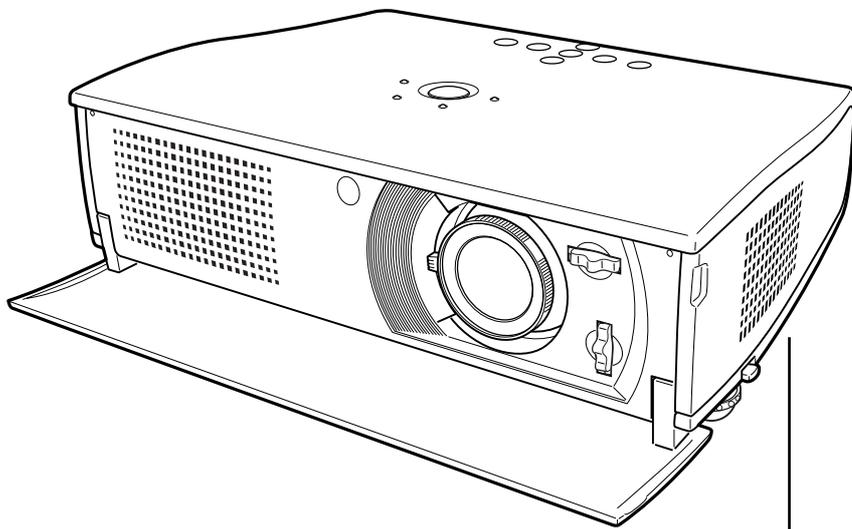


## 液晶プロジェクター 品番 LP-Z1 取扱説明書

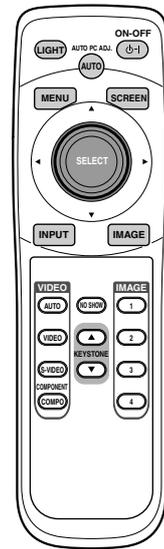
お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、  
正しくお使い下さい。とくに4～9ページの「安全  
上のご注意」は必ずお読みください。  
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつ  
でも取り出せるところに必ず保管してください。わ  
からないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示



取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。  
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。  
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# 液晶プロジェクター LP-Z1 の特徴

クラス最高約 157 万画素ワイド液晶パネル採用で高  
精細大画面を実現

## 上下左右レンズシフト機能

- 画質を損なわずに設置位置が自由に選択可能。

## さまざまな高画質回路や機能が満載

- 投影画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル  
 Keystone (台形補正)」機能。
- 映像の明るい部分や暗い部分の像形をくっきりさせる  
「白黒伸張」機能。
- より自然な肌色を再現する「肌色補正」機能。
- 赤みや青みを帯びた映像をお好みの色調に調整できる、  
「色温度切換」機能。
- お好みの階調に調整可能、10 ビットデジタルガンマ補正機能。
- ムラの少ない大画面を実現、3 次元デジタル色ムラ補正機能。

## 豊富な接続端子群を装備

- コンポーネント端子はもちろん、S 映像端子、映像端子を独  
立装備。さらにパソコンのアナログ RGB 信号を入力可能な  
ミニ D-Sub15 ピン端子も装備。

短焦点投影レンズ採用で、6 畳間で 100 型の大画面  
を実現

インテリアにマッチするスタイリッシュ&シンプルデ  
ザイン

- 生活空間に溶け込むスタイリッシュ&シンプルデザインを採用。また、デザイン性と機能性 (レンズ保護) を融合したス  
ライドモーションドアも装備。

## パソコンにも接続可能・豊富な機能

- コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マル  
チスキャンシステム」と「自動 PC 調整」機能。
- 表示されている映像を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- VGA から S-XGA (一部圧縮対応) まで投影可能 (RGB 信  
号入力時)

## 海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラー  
システムに対応。

天吊り、据置、リア投影など、さまざまな設置方法  
に対応

ライトアップ機能付き多機能ワイヤレスリモコン付き

**満足の明るさと高精細大画面**

- 約157万画素の高精細映像で DVD はもちろん、ハイビジョン画像も存分に楽しめる。
- 130W UHPランプの採用により、高輝度化を実現。
- 30~200 型の大画面。

**充実のビデオ/コンピュータ入力端子**

- ビデオ入力端子には、コンポーネント (Y/Pb/Pr、またはY/Cb/Cr) 端子はもちろん、S 映像端子、映像端子を独立装備。
- コンピュータ入力端子には、ミニ D-sub 15ピン (アナログ) を装備。

**小型・軽量・静音設計**

- 小型・軽量 3.4 Kgのコンパクトボディ。
- 使用する環境温度を解析し排気ファンを最適な回転数で駆動する「ファン回転リニアコントロール技術」を採用。

**ワイヤレスリモコン**

- プロジェクターの遠隔操作が可能。
- ライトアップ機能付き多機能ワイヤレスリモコン

# 目次

## 安全上のご注意 4

正しくお使いいただくために・・・9  
付属品を確認してください・・・9

## 各部の名称 10

本体各部のなまえ・・・10

## 設置のしかた 12

設置のしかた・・・12  
レンズシフトについて・・・13  
設置上のご注意・・・15

## 操作の前に 16

リモコンの準備・・・16  
電源コードを接続する・・・17

## 接 続 18

接続端子の名称とはたらき・・・18  
ビデオ機器を接続する・・・19  
コンピュータを接続する・・・20

## 基本操作 21

本体操作パネルのボタン・・・21  
リモコンのボタン・・・22  
電源を入れる・・・23  
電源を切る・・・24  
フォーカスとズーム・・・25  
キーストーン調整・・・26  
画面を一時的に消す・・・26  
オンスクリーンメニューの操作方法・・・27  
メニュー一覧・・・28

## ビデオ入力 29

ビデオ入力に切り換える・・・29  
カラーシステムや走査方式を選択する・・・30  
イメージの調整・・・31  
画面の表示モードを選択する・・・33

## コンピュータ入力 35

コンピュータ入力に切り換える・・・35  
コンピュータシステムの選択・・・36  
コンピュータシステムの調整・・・37  
コンピュータシステムモード一覧・・・40  
イメージの調整・・・41  
適切な画像サイズに調整する・・・44

## 各種セッティング 45

## 付 録 48

内部の温度上昇について・・・48  
光源ランプの交換・・・49  
正しくお使いいただくために・・・51  
故障かなと思ったら・・・52  
インジケータ表示とプロジェクターの状態・・・53  
仕様・・・54  
別売品・・・55  
寸法図・・・56  
端子の仕様・・・57

## お客さまご相談窓口 58

## 保証とアフターサービス 裏表紙

# 安全上のご注意

## 安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

### ■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。  
△の中に具体的な注意内容が描かれています。  
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。  
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。  
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを  
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。  
●の中に具体的な指示内容が描かれています。  
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

# 警告

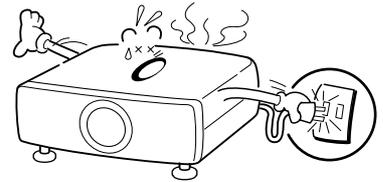
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



電源プラグを  
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを  
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

- 画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

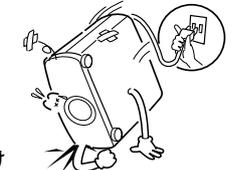
- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを  
コンセントから抜け



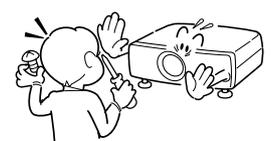
- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

# ⚠ 警告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁 止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室  
での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



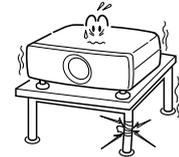
水ぬれ禁止



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



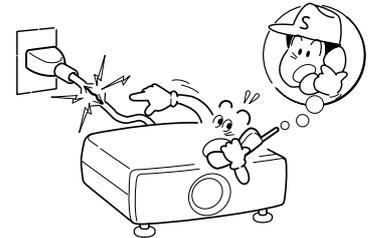
禁 止



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁 止



- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

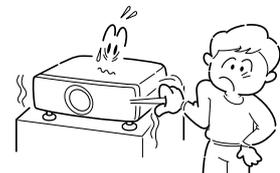
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁 止



# 警告

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



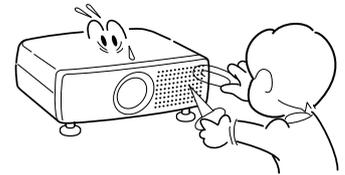
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードのアース端子を設置してください。(詳しくは、17 ページをご覧ください。)



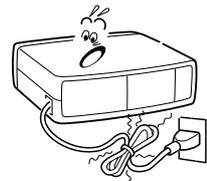
アース線を接続する

# 注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



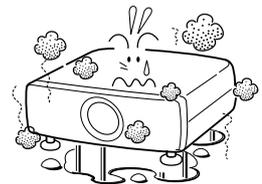
禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



# ⚠ 注意

- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置のときは、ファンの排気口を壁から 25 cm 以上はなしてください。

次のような使い方はしないでください。

- \* 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- \* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- \* じゅうたんや布団の上に置く。
- \* テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから 25 cm 以上はなし、風通しをよくしてください。



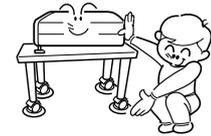
禁止



- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



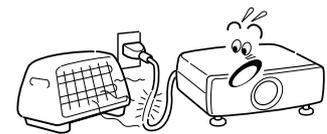
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け

# ⚠ 注意

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



## 正しくお使いいただくために

### 持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにスライドモーションドアを閉めて、持ち運んでください。車両・航空機などを利用持ち運んだり、輸送したりする場合は、ご注意ください。

## 付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

リモコン

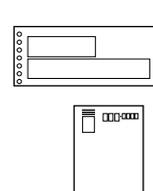
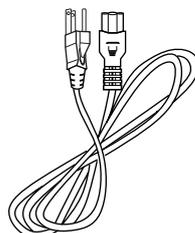
リモコン用アルカリ  
乾電池（単三型 2 本）

電源コード

ビデオケーブル

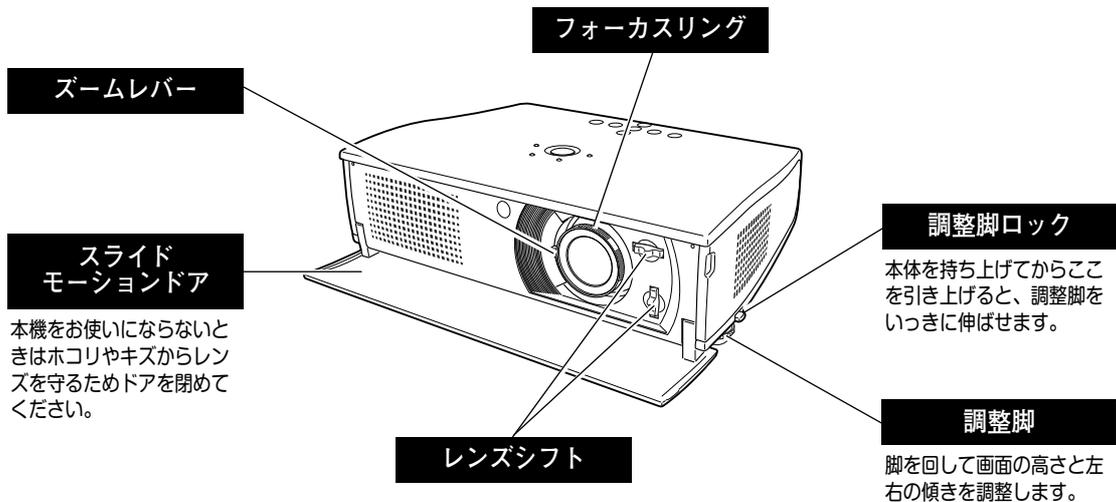
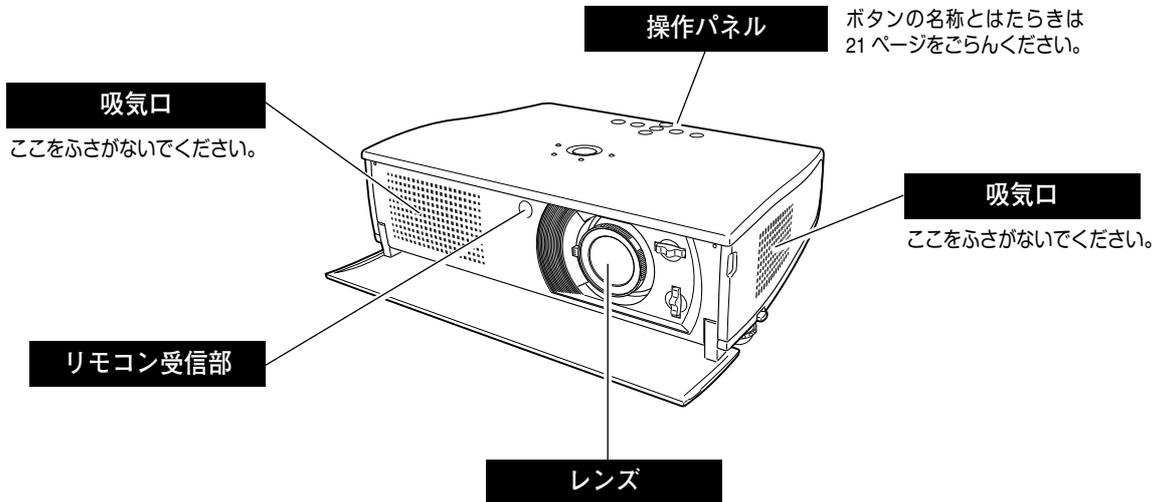
取扱説明書  
（本書）

保証書/  
ユーザー登録カード



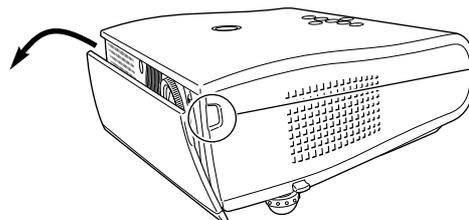
# 各部の名称

## 本体各部のなまえ



## スライドモーションドアの開閉

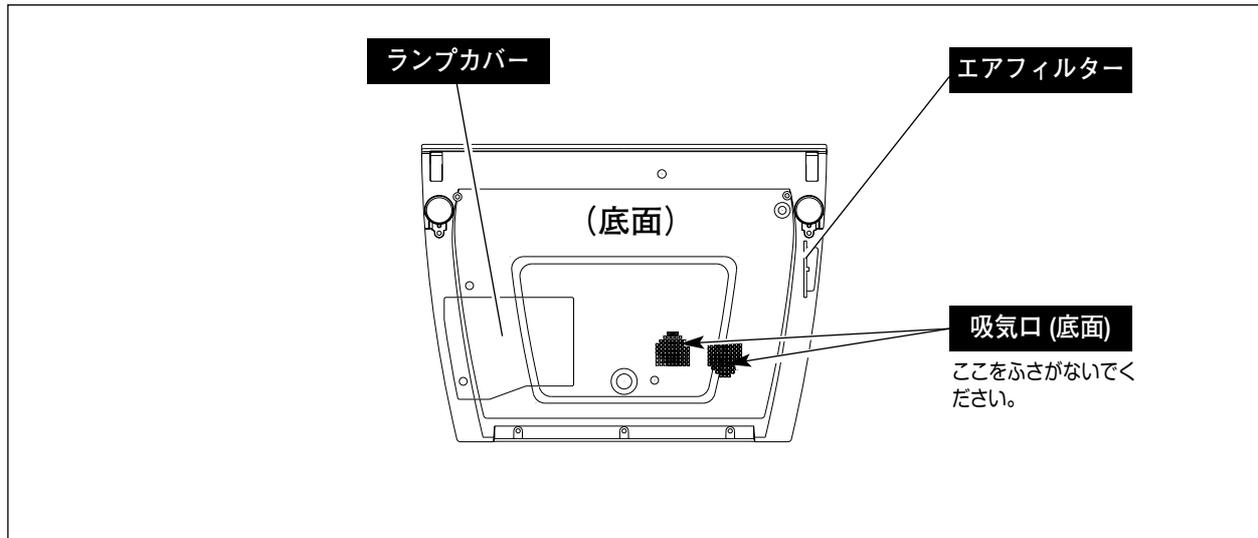
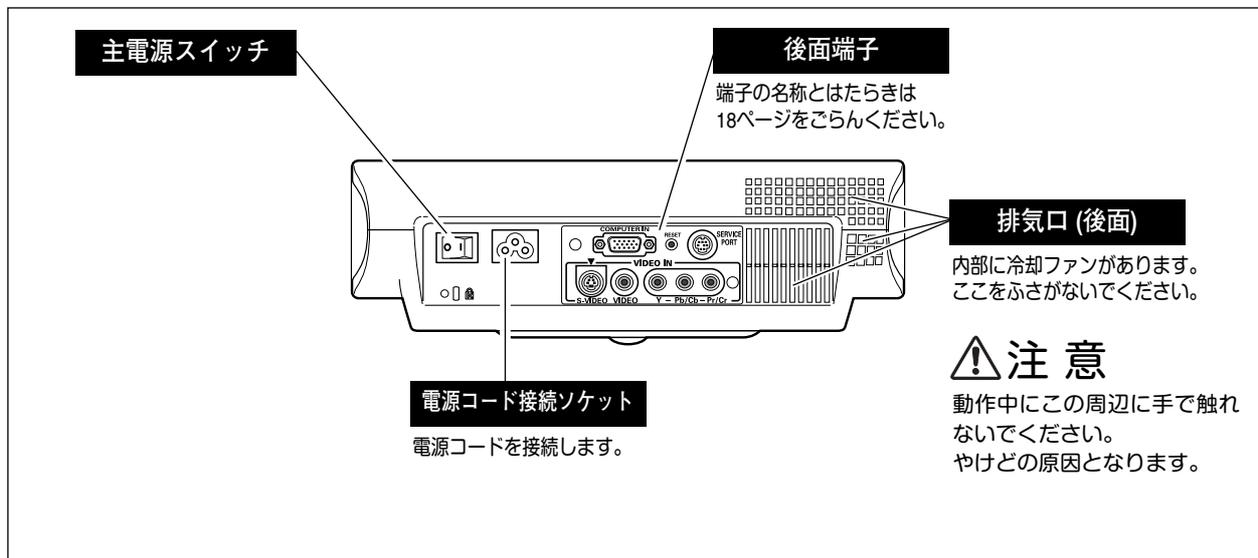
ドアを閉めると電源が切れます。ドアが閉まっているとランプが点灯しません。



本体右側にみぞがあります。ここを持ってドアを開いてください。開閉時には指を挟まないようご注意ください。

**注意：** ドアを閉めると電源が切れますが、プロジェクターを保護するためです。ドアの開閉で電源を切らないでください。

## 本体各部のなまえ (つづき)



### 注意

動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因となります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

また、熱で変形や変色のおそれのあるものを上に置かないでください。

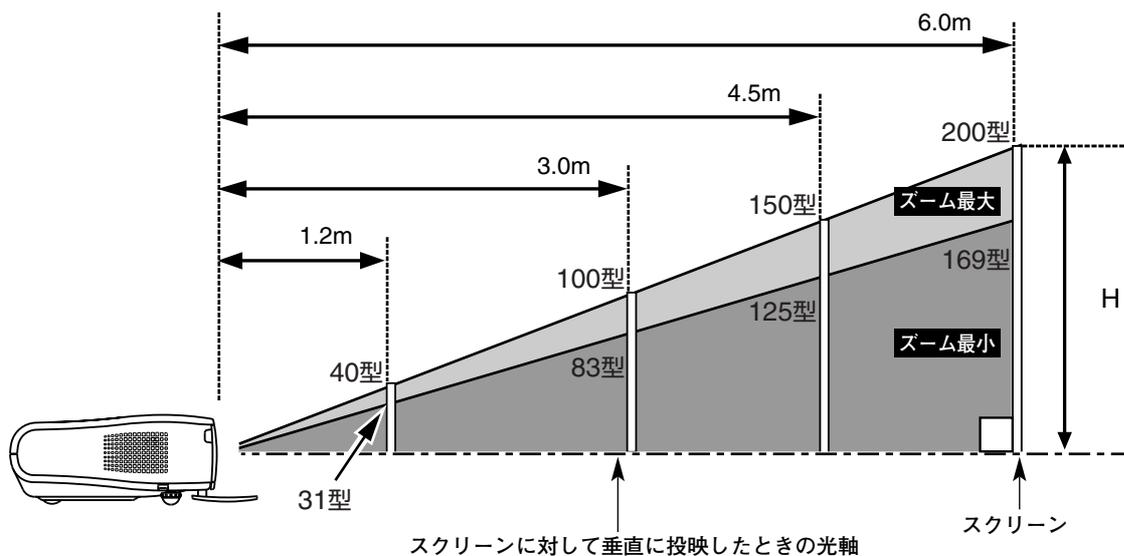
(設置上のご注意 15 ページをご参照ください。)

# 設置のしかた

## 設置のしかた

### スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約 1.1m~6.0m の範囲で設置してください。



画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	30 型	40 型	100 型	150 型	200 型
投影距離 (ズーム最小)	1.1 m	1.4 m	3.6 m	5.4 m	—
投影距離 (ズーム最大)	—	1.2 m	3.0 m	4.5 m	6.0 m

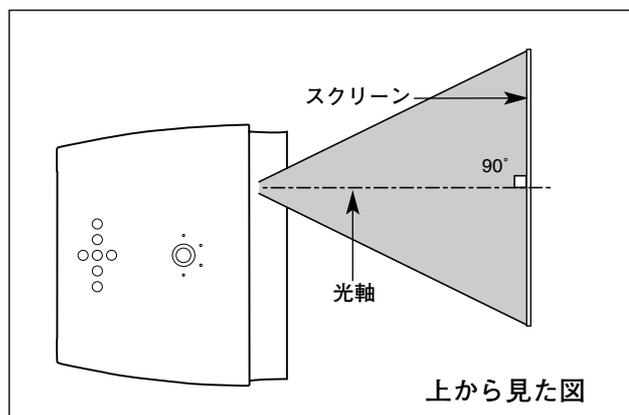
※上表は 16 : 9 の画面で投影した画面サイズの目安です。投影画像の内容により画面サイズは異なります。

(33、44 ページ参照)

上図はレンズシフトで画面を上方向に投影したものです。

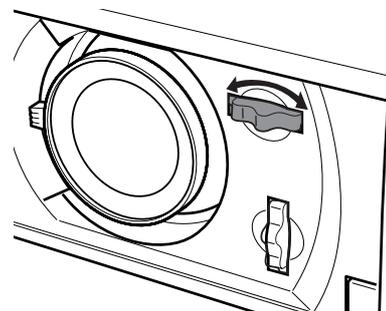
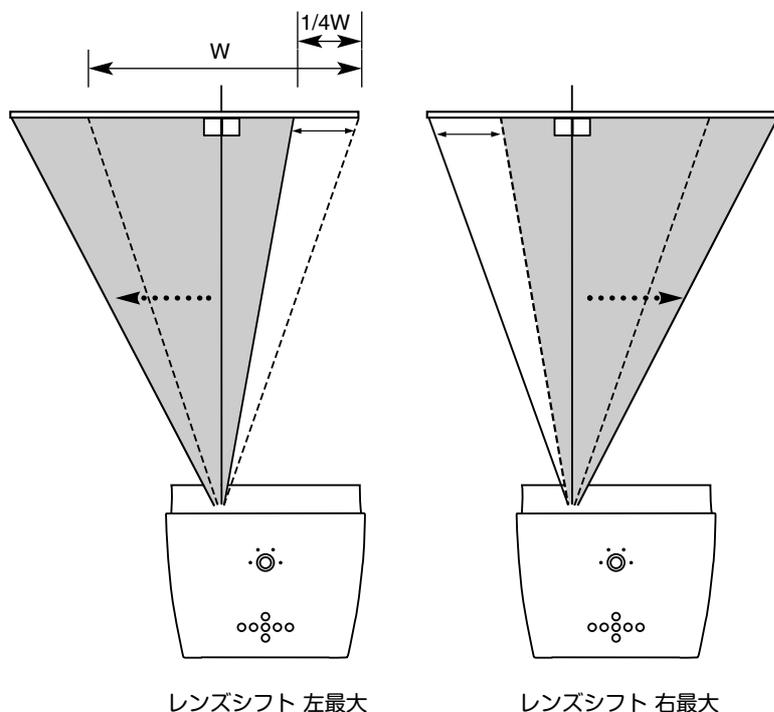
### スクリーンに対して直角に設置する

投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



## レンズシフトで投映画面の水平位置を合わせる

レンズシフト（水平位置調整）で画面の水平位置を合わせます。  
左右各画面幅約 1/4 の範囲で移動できます。



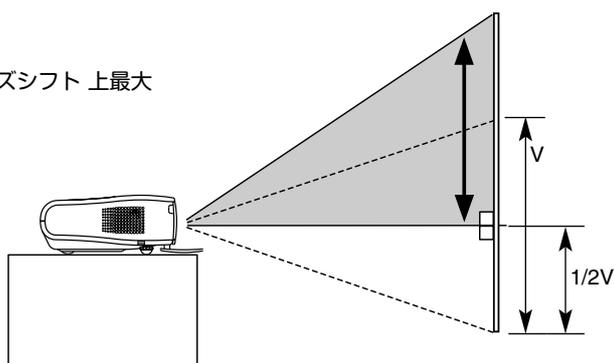
### メモ

一般的にレンズシフト中央部で最良の画質が再現されます。

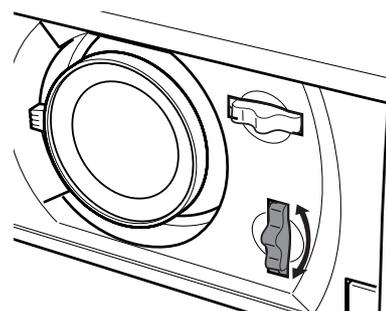
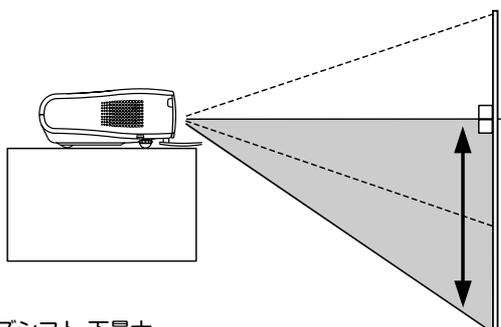
## レンズシフトで投映画面の垂直位置を合わせる

レンズシフト（垂直位置調整）で画面の垂直位置を合わせます。  
画面縦幅約 1/2 の範囲で上下に移動できます。

レンズシフト 上最大



レンズシフト 下最大

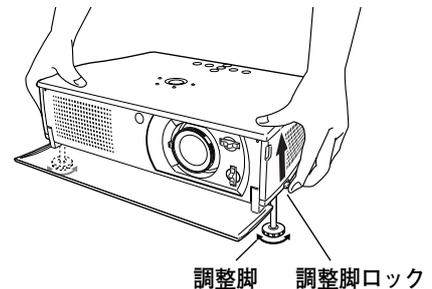


### メモ

一般的にレンズシフト中央部で最良の画質が再現されます。

### 投映画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指をはなして調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約11.8度まで上がります。



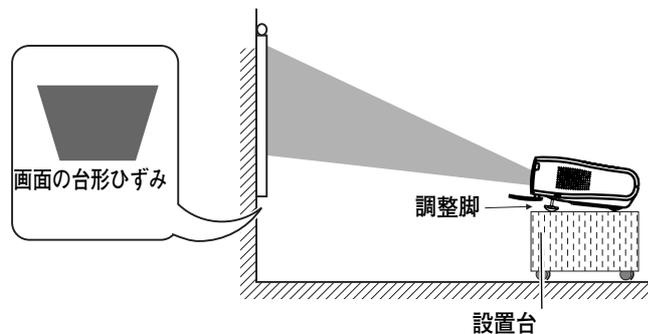
#### ● 画面位置調整のヒント ●

画面の上下位置調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

#### ● 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(26、45 ページ参照)



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

#### メモ

##### ● お使いになる部屋の明るさについて ●

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

##### ● ご注意・著作権について ●

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

## 設置上のご注意

設置するときは次のことに注意してください

### ⚠ 注意

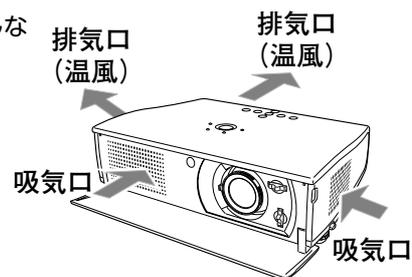
#### ● 吸・排気口にご注意ください ●

底面に吸気口があるため、設置するときは柔らかい布やマット等の上に設置しないようご注意ください。

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。

調整脚を出したときにテーブル面に温風が当たりますので、変形や変色のおそれのあるものの上に置いての投映はしないでください。



#### ● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、性能の劣化の原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

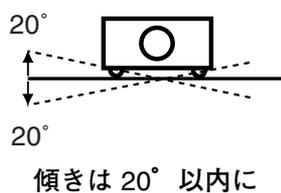
● 使用温度範囲 ● 5℃～35℃      ● 保管温度範囲 ● -10℃～60℃

#### ● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

## 正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置ください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



左右への傾きは各 20° 以内としてください。



横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投映しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

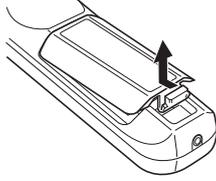
# 操作の前に

## リモコンの準備

### 電池の入れかた

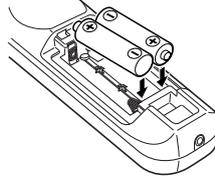
1 電池カバーを開けます。

矢印の方向に  
引きます。



2 電池を入れます。

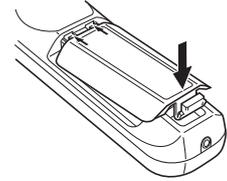
付属の乾電池をプラス、  
－マイナスに注意して入れます。



使用電池  
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド  
させます。



※ リモコンの電池を外すと、リモコンコードが「コード2」にリセットされます。(47ページ参照)

#### ● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

- ・ 指定の型名以外の電池は使わない。
- ・ 電池は充電しない。分解しない。
- ・ +極と－極の向きを正しく入れる。+極と－極をショートさせない。
- ・ 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・ 電池を廃棄するときは、各自治体の指示及び電池製造者の指示に従って廃棄してください。



注意

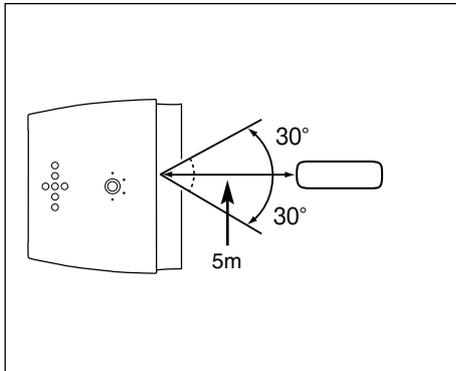


禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・ 長い間使わないときは電池をとりだす。
- ・ 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい電池を入れる。
- ・ 電池はお子さまの手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだりする恐れがあります。

### リモコンで操作できる範囲



リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30°以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

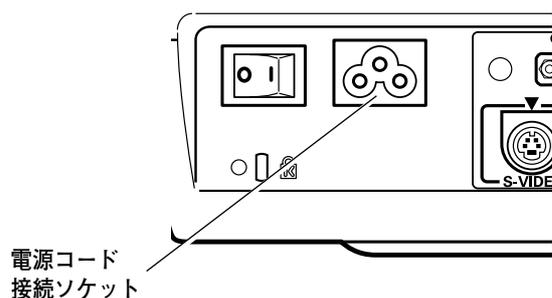
#### ● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・ 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・ 液状のものをかけない。
- ・ 落としたり衝撃を与えない。
- ・ 熱や湿気をさける。

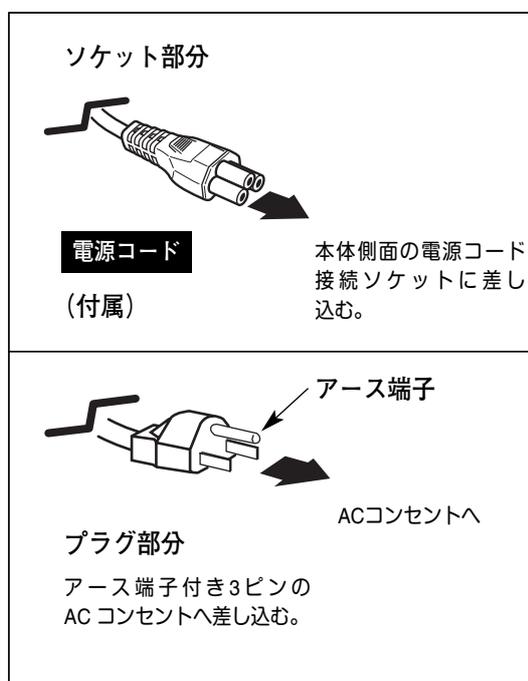
## 電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、19～20 ページを参照してビデオやコンピュータ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの AC コンセントに差し込みます。



### ● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

### ● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

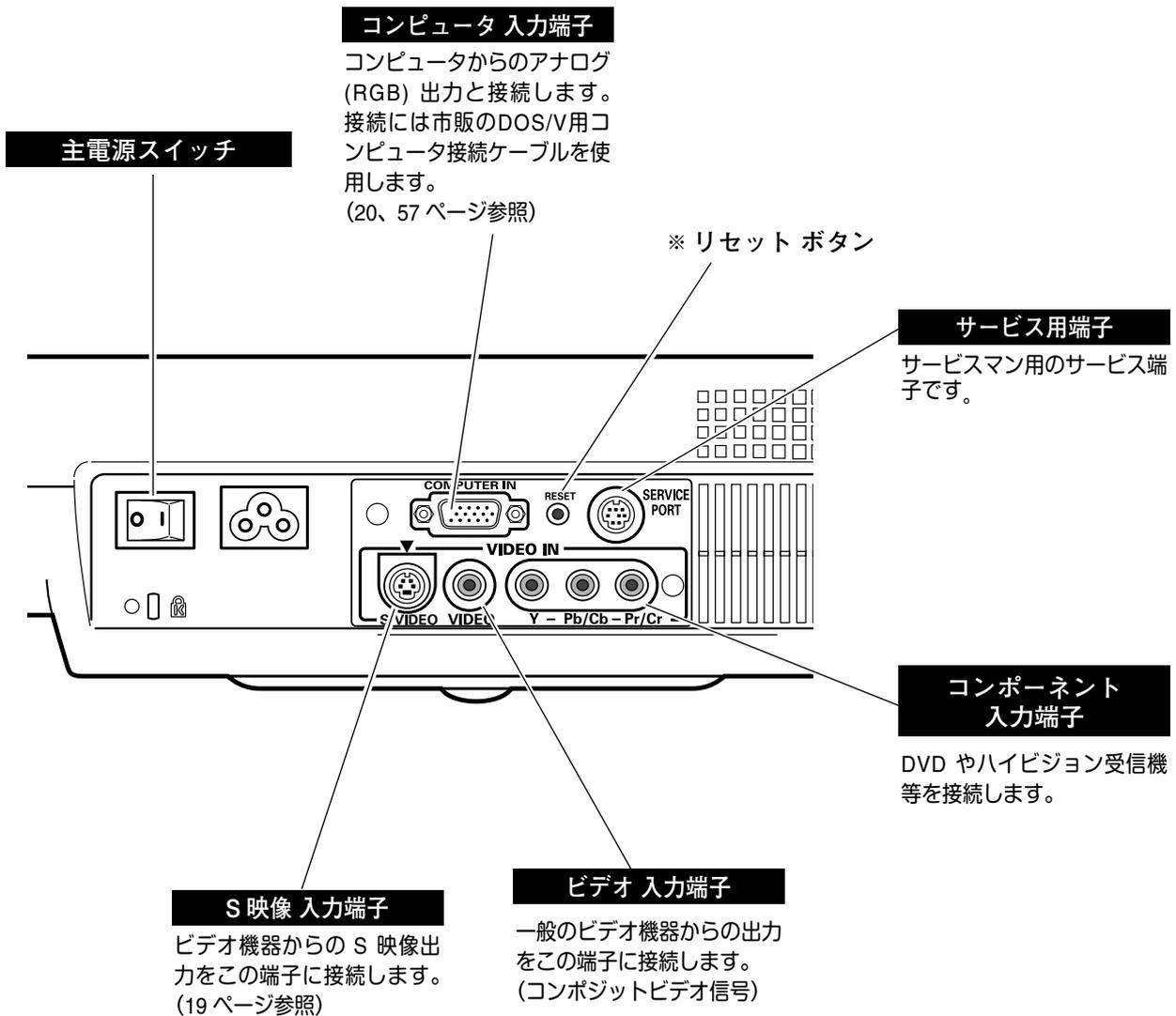
長期間ご使用にならないときは安全のため電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。



注 意

## 接続端子の名称とはたらき

本機の後面にはビデオやコンピュータ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、次の19～20ページを参照して正しく接続してください。



### ※ リセット ボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

## ビデオ機器を接続する

### 接続に使用するケーブル

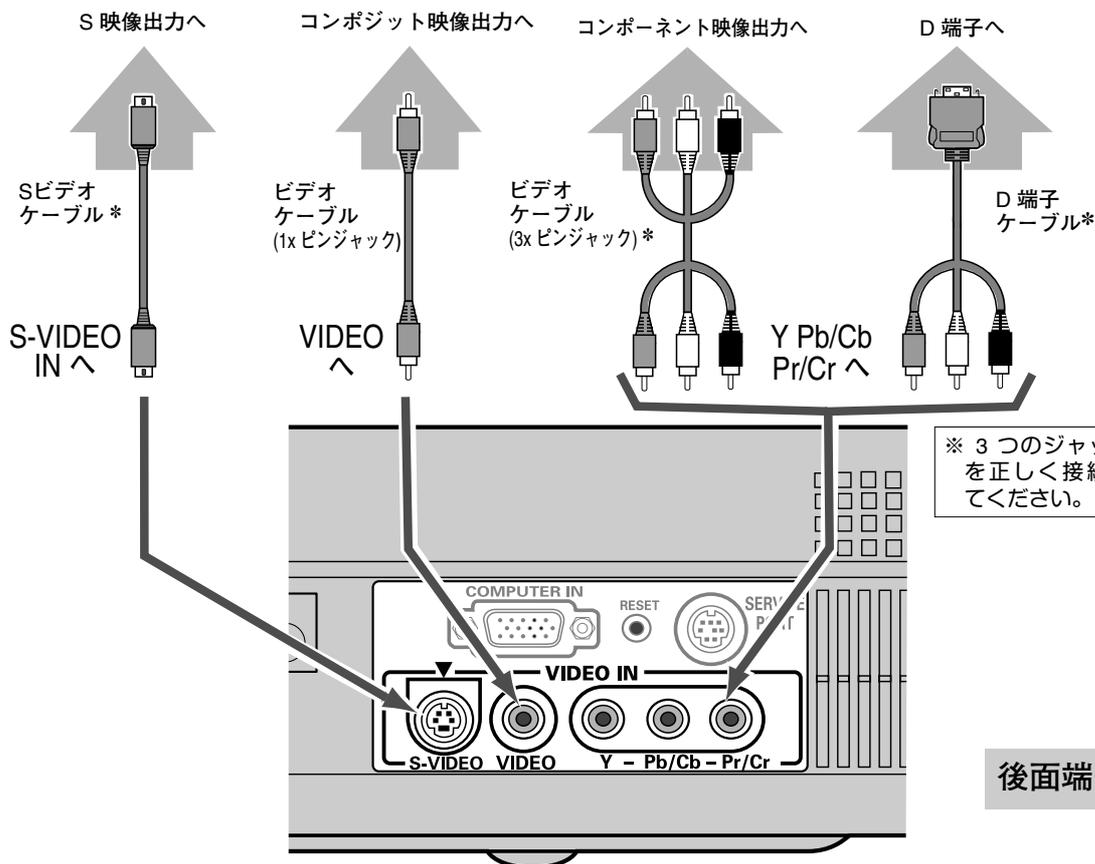
- 付属のビデオ ケーブル (1x ピンジャック)
- ビデオ ケーブル (3 x ピンジャック) \*
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン) \*
- D 端子ケーブル \*

\* は付属していません。市販のケーブルをお使いください。



接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

### ビデオ機器の例



後面端子

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入を検知して  
1) Y, Pb/Cb, Pr/Cr、2) S-Video、3) Y (Video)  
の接続順位で入力端子を自動選択します。(入力信号有無の検知での動作ではありません。)

希望する入力端子が選択されないときは、メニューの入力信号選択メニューで選択してください。(29 ページ参照)

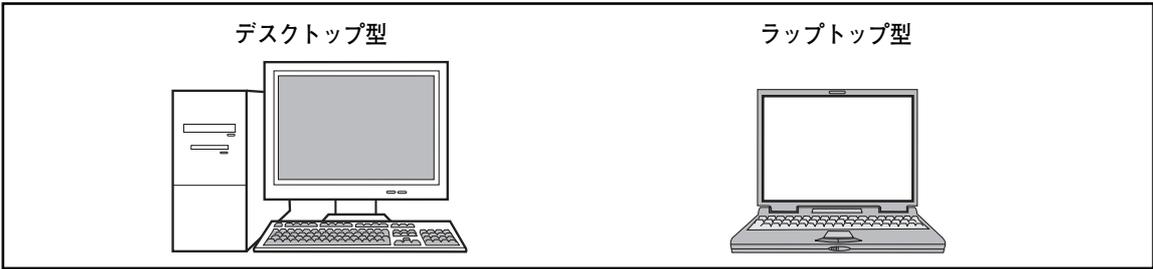
# コンピュータを接続する

## 接続に使用するケーブル

- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用)\*
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時)\*

\* は付属していません。市販のものをお使いください。

## IBM PC/AT 互換機 または マッキントッシュコンピュータ (VGA / SVGA / XGA / SXGA)



モニター  
出力へ

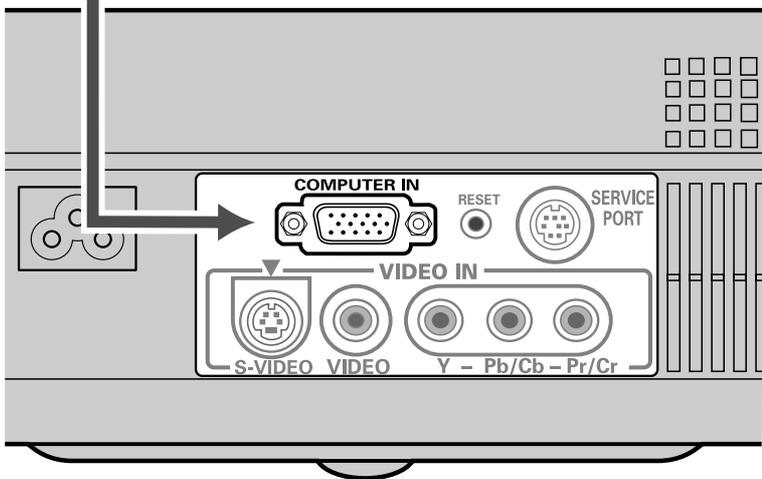


※注: Mac変換アダプタ (別売) について  
プロジェクターとコンピュータの電源を  
入れる前に、接続するマッキントッシュ  
コンピュータのモードに合わせてアダプ  
タのスライドスイッチ (1~6) を下表のよ  
うに設定してください。

	1	2	3	4	5	6
13" MODE (640 x 480)	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16" MODE (832 x 624)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
19" MODE (1024 x 768)	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
21" MODE (1152 x 870)	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF



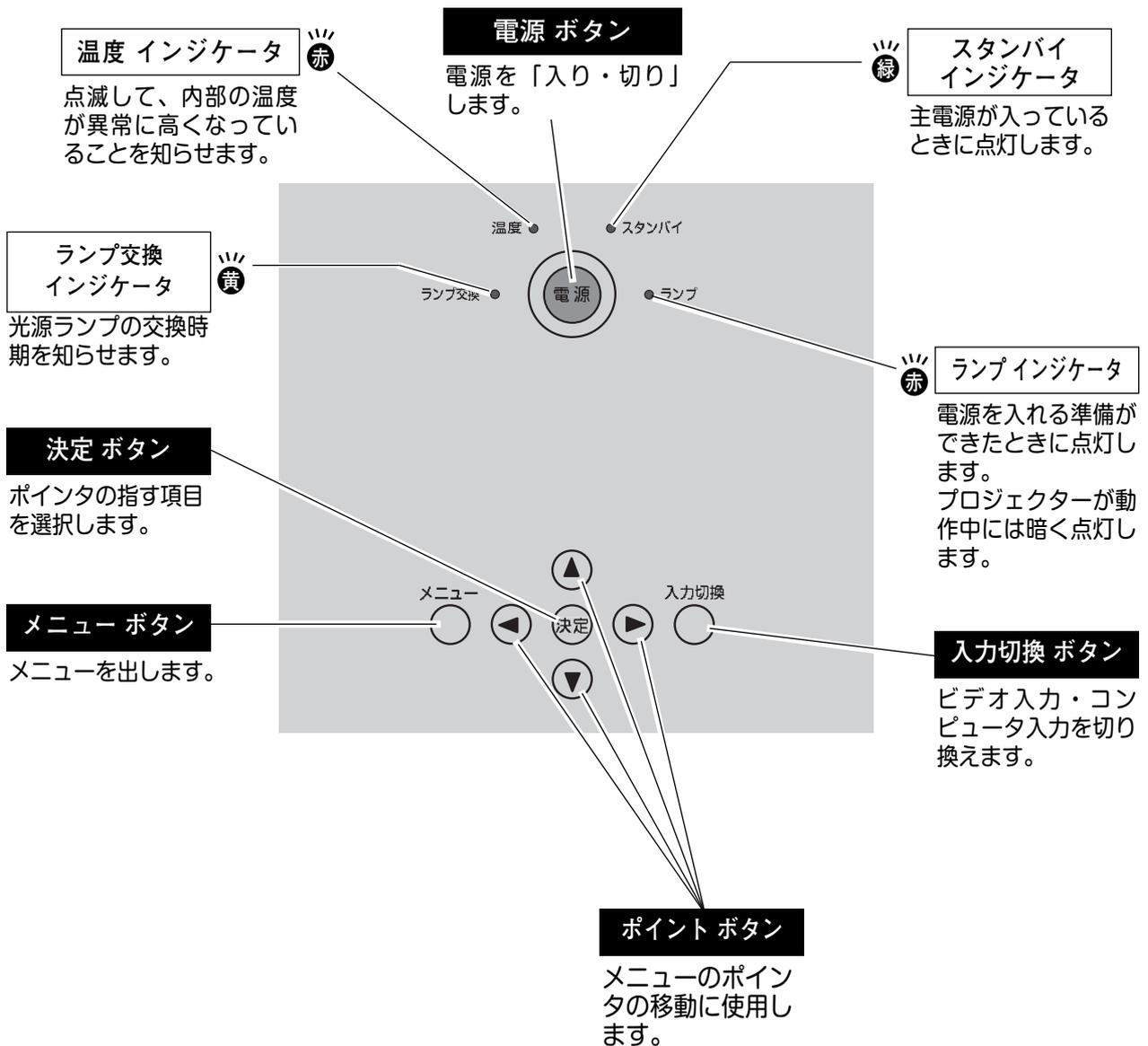
COMPUTER  
IN へ



後面端子

 接続するときは、プロジェクターと外部機器  
の両方の電源を切ってから行ってください。  
はじめにプロジェクターと周辺機器の電源を  
入れてからコンピュータの電源を立ち上げて  
ください。

## 本体操作パネルのボタン



# リモコンのボタン

## ライト LIGHT ボタン

1回押すと  
LIGHT/ON-OFF/AUTO/  
MENU/SCREEN/INPUT/  
IMAGE ボタンが約10秒  
間点灯します。

## メニュー MENU ボタン

メニューを出します。

## インプット INPUT ボタン

コンピュータ入力・ビデオ  
入力を切り換えます。

## ノーショー NO SHOW ボタン

画面を一時的に消します。

## ビデオ VIDEO ボタン

ビデオのモードを選択します。

## キーストーン KEYSTONE ボタン

画面の台形ひずみ (あおり)  
を補正します。

## オートピーシーアジャスト AUTO PC ADJ. ボタン

トラッキング・総ドット数・  
画面位置を自動調整します。

## パワー POWER ボタン

電源の ON/OFF を行ないます。

## スクリーン SCREEN ボタン

スクリーンサイズを選択し  
ます。

## ポイント ボタン

オンスクリーンメニューの  
ポインタの移動やメニュー  
の調整、デジタルズーム  
モードのときの画像の移動  
に使用します。  
SELECT ボタンと共用です。

## セレクト SELECT ボタン

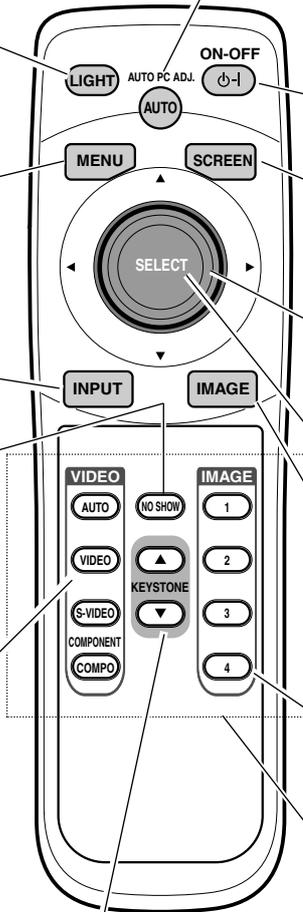
ポインタの指す項目を選択し  
ます。

## イメージ IMAGE ボタン

イメージモードを選択します。

## 蓄光ボタン

この枠内のボタンは蓄光ボタ  
ンを採用しています。明るい  
光の下にしばらく置いておく  
と光を吸収し、リモコンを暗  
いところへ持ち込んだとき、  
ボタンが発光します。



# 電源を入れる

## 電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、19～20ページを参照してビデオ機器、コンピュータを接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(17 ページ参照)  
本機の後面にある主電源スイッチを入れます。  
スライドモーションドアを開けます。  
赤色のランプインジケータと緑色のスタンバイインジケータが点灯します。  
※スライドモーションドアが閉まっているときはランプインジケータのみが点灯します。

- 2 リモコンの ON-OFF ボタンまたは操作パネルの電源ボタンを押して電源を入れます。  
ランプインジケータが少し暗めの点灯にかわります。  
約 30 秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。  
スタート時ランプモードと入力モードの表示が約 4 秒間出ます。  
※このときスライドモーションドアが閉まっていると電源は入りません。

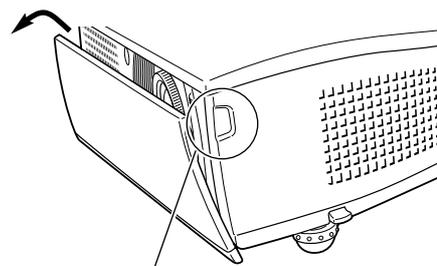
※セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」、「ロゴ オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。



※ ランプモード表示 (動作の詳細は 46 ページ参照)

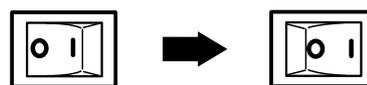
... 明るい表示: ブライトモード

... 上部グレー: シアターブラックモード



※ここを持って、ドアを開けてください。

主電源スイッチ



電源オフ

電源オン

※主電源スイッチは本機後面にあります。

### ● 電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。90 秒経ち、緑色のスタンバイインジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

### ● スライドモーションドアが閉まると電源が切れます ●

スライドモーションドアを閉じると安全のため自動的に電源が切れますが、ご使用後に電源を切るときは必ずリモコンの ON-OFF ボタンか本機の電源ボタンを押してください。  
スライドモーションドアはプロジェクターの冷却が終わってから閉じてください。  
(スタンバイインジケータが点灯します。)

### ● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

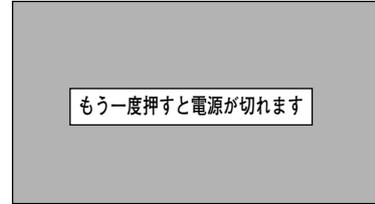
操作パネルやリモコンの ON-OFF ボタンで電源を切っても、約 12 Wの電力が消費されています。安全と節電のため、ご使用にならないときは後面の主電源スイッチを OFF (切) にしてください。また、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグを AC コンセントから抜いてください。



注意

# 電源を切る

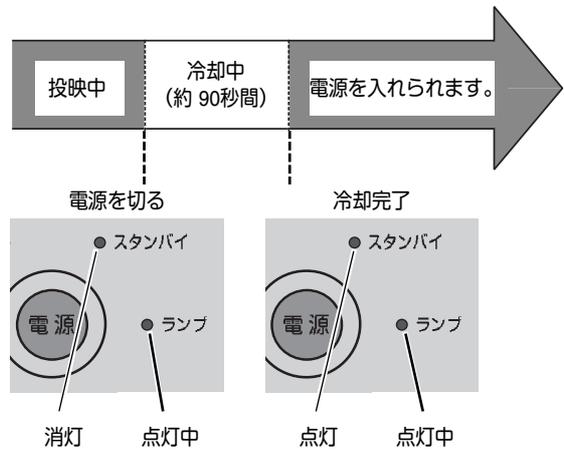
- 1 リモコンの ON-OFF ボタンまたは操作パネルの電源ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が切れます」\* の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 ON-OFF ボタンまたは電源ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。  
電源が切れると緑色のスタンバイインジケータが消え、赤色のランプインジケータが明るく点灯します。  
\* この表示は各種セッティングで変更できます。(46 ページ参照。)



※表示は約 4秒間出ます。

### ● 電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は ON-OFF ボタン・電源ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約 90 秒経ち、緑色のスタンバイインジケータが点灯すれば電源を入れることができます。



### ● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、ON-OFF ボタンまたは電源ボタンで電源を切り、約 90 秒経過後、緑色のスタンバイインジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

### ● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

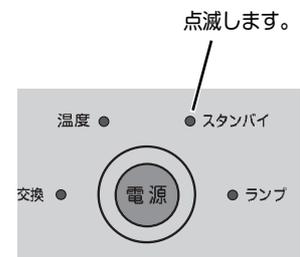
プロジェクターを 24 時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合 24 時間に 1 度電源を切り、1 時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

## パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。5 分 30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、パワーマネジメント機能が働き、電力の節約とランプの寿命を助けるはたらきをします。工場出荷時は、パワーマネジメント機能は「オン」に設定されています。

### 動作について

- 1) プロジェクターの入力信号が中断し、30 秒以上プロジェクターが操作されないと、画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、タイマーが 5 分からカウントダウンを始めます。
- 2) 5 分経過するとランプが消灯し、ファンが回転してランプの冷却を行ないます。ランプ冷却中はスタンバイインジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 3) ランプの冷却が完了するとスタンバイインジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。



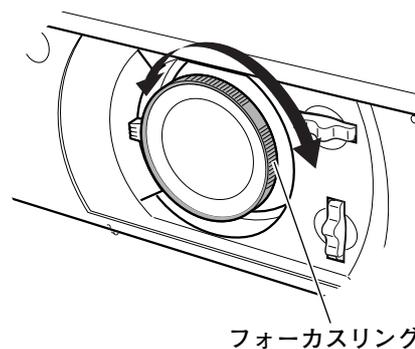
パワーマネジメントモードになると、スタンバイインジケータが点滅を始めます。

※ パワーマネジメント機能の「オン」「オフ」の設定については、46 ページをごらんください。

# フォーカスとズーム

## フォーカスを合わせる

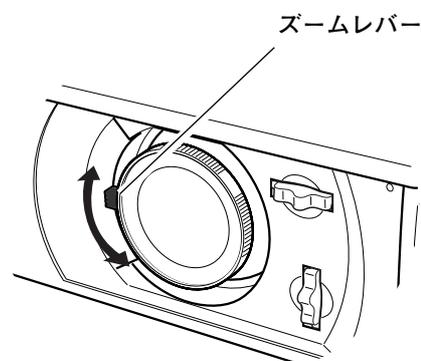
フォーカスリングを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



## 画面の大きさを決める

ズームレバーを上方向または下方向に回して、画面の大きさを調整をします。

ズームレバー 上方向・・・画面が大きくなります。  
ズームレバー 下方向・・・画面が小さくなります。



## キーストーン調整

### キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

#### リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。

KEYSTONE ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。

KEYSTONE ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

#### 操作パネルで操作するとき

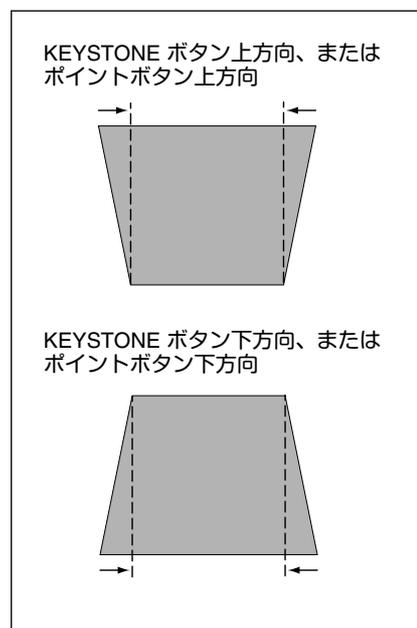
※ メニューの操作方法（次ページ）各種セッティング（45 ページ）参照。

- 1 メニューボタンを押してメインメニューを出し、上下ボタンで一番下のセッティングメニューを選択します。右方向のボタンを押してサブメニューに入ります。
- 2 上下ボタンでキーストーンの項目を選択し決定ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。
- 3 表示が出ている間にポイントボタンの上下方向で、画面の台形ひずみを補正します。  
ポイント ボタン 上方向・・・画面上部の幅が縮みます。  
ポイント ボタン 下方向・・・画面下部の幅が縮みます。

- ※ キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ レンズシフトを最大の位置に設定すると、台形ひずみが残る場合があります。



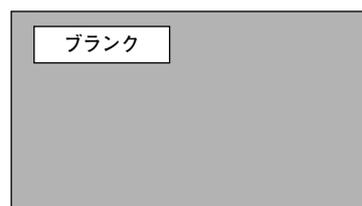
- ※ 表示は約4秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
- ※ 補正された方向の矢印は紫色で表示されます。（無補正の場合の表示は白です。）
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示は消えます。



## 画面を一時的に消す（NO SHOW）

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。また、NO SHOW 機能動作中に他のボタンを押すと NO SHOW は解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

#### ● こんなときに便利です ●

見られたくない映像が投映されているときに、急に他の人が入ってきたときなどに便利です。

# オンスクリーンメニューの操作方法

## メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

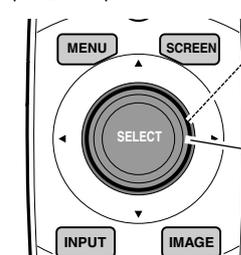
### ①ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。リモコンのポイントボタンは SELECT ボタンと共用になっています。ボタンを矢印の方向へ倒すと矢印のポインタとして動作します。

### ②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やメニューを選択するには、決定ボタンを押します。決定ボタンはリモコンと操作パネルにあります。(リモコンでは SELECT ボタン)操作は押し下げます。

(リモコン)



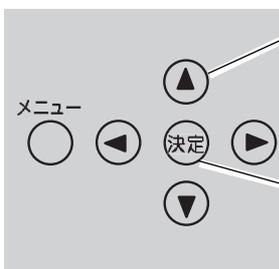
**ポイントボタン**

ポインタを上下左右に動かします。SELECT ボタンと共用です。

**SELECT ボタン**

ポインタの指す項目を選択します。

(操作パネル)



**ポイントボタン**

ポインタを上下左右に動かします。

**決定 ボタン**

ポインタの指す項目を選択します。

## 操作の手順

### 画面にメニューを表示させる

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。(右図参照)メニューには選択できる項目がアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。

### メニューを選択する

- 2 ポイントボタンの上下方向で選択したいメニューのアイコンに移動させます。このとき選択されたメニューは他より明るくなります。

### メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、調整する項目を上下ボタンで選択します。
- 4 左右ボタンや SELECT (決定) ボタンで、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。

メニューに選択・実行するボタンをマークで表示しています。

◀ ▶ …… ポイントボタン

↵ …… 決定 / SELECT

メニューアイコン  
ポイントボタンの上下方向でポインタを動かして選択します。

右ボタン

項目

サブメニュー  
ポイントボタンの左右方向や決定 (SELECT) ボタンで調整や切り換えを行ないます。

# メニュー一覧

各メニューの中の調整項目。(調整項目はメニューで表示される表示です。)

## ビデオ入力モード

	入力選択：ビデオ (Auto, Video, S-Video, (Y, Pb/Cb, Pr/Cr) ) コンピュータ
	カラー方式、走査方式の選択：Auto / PAL, SECAM, NTSC, NTSC4.43, PAL-M, PAL-N 1080i, 1035i, 720p, 575p, 480p, 575i, 480i
	イメージモード選択：標準、シネマ、イメージ1,2,3,4
	イメージ調整：コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、赤、緑、青、画質、ガンマ補正、 白黒伸張、肌色補正、リセット、メモリー
	画面サイズの選択：フル、ズーム、ノーマル
	各種の設定：言語、キーストーン、ブルーバック、オンスクリーン表示、メニュー位置、ロゴ、天吊り、 リア投映、パワーマネージメント、電源オフ確認、ランプモード、リモコンコード、 ランプカウンターリセット

## コンピュータ入力モード

	入力選択：ビデオ (Auto, Video, S-Video, (Y, Pb/cb, Pr/Cr) ) コンピュータ
	コンピュータシステムモード選択：モード1,2,3,4,5 VGA1-----
	コンピュータシステム調整：自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、 コンピュータ情報、クランプ、画面領域、画面領域 H、画面領域 V、 フルスクリーン、リセット、データ消去、メモリー
	イメージモード選択：標準、リアル、イメージ1,2,3,4
	イメージ調整：コントラスト、明るさ、色温度、赤、青、緑、画質、ガンマ補正、白黒伸張、肌色補正、 リセット、メモリー
	画像サイズ調整：ノーマル、フル、リアル、デジタルズーム
	各種の設定：言語、キーストーン、ブルーバック、オンスクリーン表示、メニュー位置、ロゴ、天吊り、 リア投映、パワーマネージメント、電源オフ確認、ランプモード、リモコンコード、 ランプカウンターリセット

# ビデオ入力（ビデオを映す）

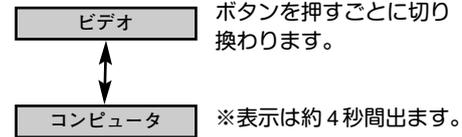
## ビデオ入力に切り換える

### 入力切替 / INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT または操作パネルの入力切替ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

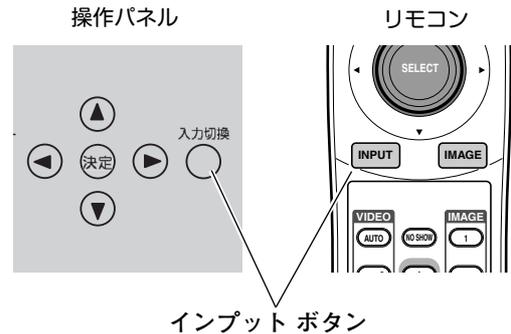
### 入力切替 / INPUT ボタン



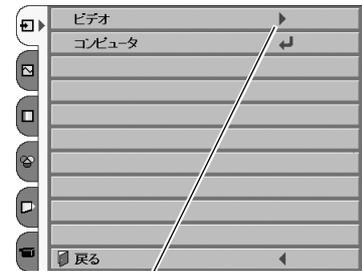
### 入力選択メニューで入力を切り換える

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押して、メインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向で一番上のインプットメニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンで「ビデオ」の項目に合わせ、右ボタンを選択すると信号選択メニューが現われます。
- 3 ポインタを希望する信号の種類に合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンで選んでください。

※ 2 台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入を検知して  
1) Y, Pb/Cb, Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。



### 入力選択メニュー

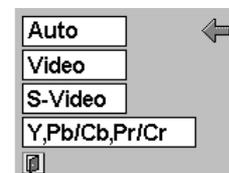


ポインタを「ビデオ」へ移動し、右ボタンを押します。

### Auto（自動）

信号を入力している端子をプロジェクターが自動で選択します。

- ※ 2 台のビデオ機器を接続しているときは、  
1) Y,Pb/Cb,Pr/Cr, 2) S-Video, 3) Video の優先順位でプロジェクターが入力端子への挿入を探知して接続端子を自動選択します。希望する入力端子が自動選択されないときは、ポインタを合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンで選択してください。  
※ カラーの映像信号を入力しても色が出ないときは、正しい信号の種類が選択されているか確認してください。



### 信号選択メニュー（ビデオ）

ポインタを希望する信号の種類に合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。

### Video

一般のビデオなどからの映像信号（コンポジット映像信号）を入力するときに選択します。

### S-Video

S 映像信号（セパレート YC 信号）を入力するときに選択します。

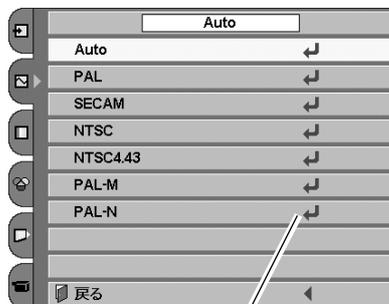
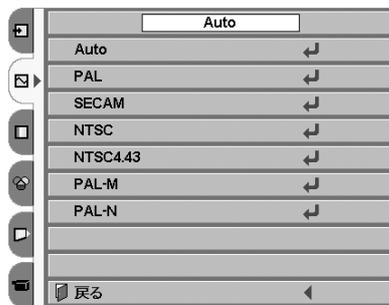
### Y, Pb/Cb, Pr/Cr

DVD プレーヤーや HDTV などからのコンポーネント映像信号を入力するときに選択します。

## カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でシステムメニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニューに入り、ポイントボタンの上下方向で希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押してください。

システム メニュー  
(コンポジット映像または S 映像入力時)



ポイントボタンの上下方向希望するカラーシステムに合わせ、SELECT または決定ボタンを押します。

### VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

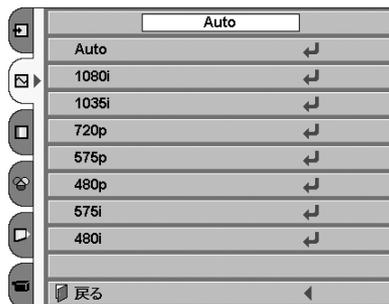
#### Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。  
※ PAL-M と PAL-N は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポイントに合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンで選んでください。

#### PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー  
(コンポーネント映像入力時)



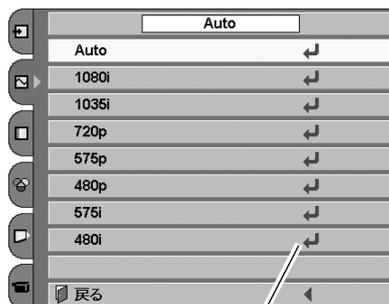
### Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

#### Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

#### コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480i のの中から正しい走査方式を選んでください。



ポイントボタンの上下方向希望する走査方式に合わせ、SELECT または決定ボタンを押します。

# イメージの調整

## IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。またはリモコンの IMAGE1~4ボタンを押し直接選択します。

### 標準

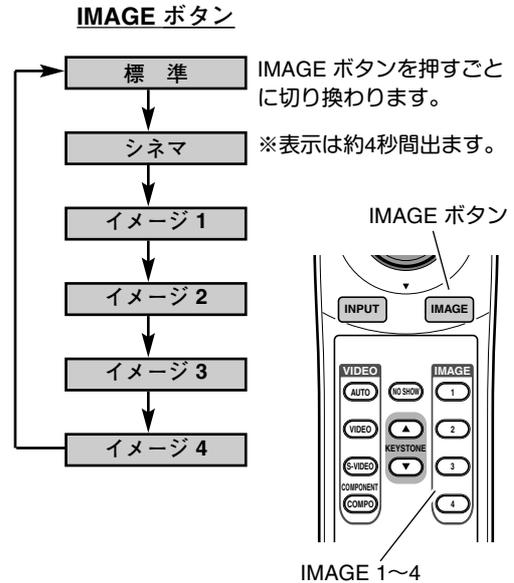
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

### シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

### イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



## イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でイメージ選択メニューのアイコンを選択します。

イメージ選択メニュー

2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンでお好みのイメージモードを選択し、リモコンは SELECT、操作パネルは決定ボタンで選びます。



### 標準

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

### シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

### イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(次ページ参照)



お好みのイメージモードの項目を選択し、SELECT または決定ボタンを押します。

## マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でイメージ調整メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンで調整したい項目を選択します。  
調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。

イメージ調整メニュー



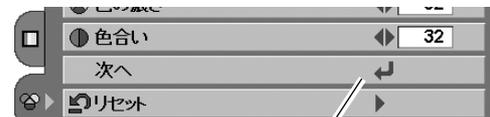
ポイントボタンの右方向を選択し、サブメニューに入ります。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。  
左右ボタンで選択項目のみが表示されます。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。  
調整のあと、SELECT または決定ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。



次のページに移るときは、次への項目を選択しSELECT または決定ボタンを押します。

### コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

### 明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

### 色の濃さ

ポイントボタンの左方向で色が薄くなり、ポイントボタンの右方向で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

### 色合い

ポイントボタンの左方向で色が紫がかり、ポイントボタンの右方向で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。(30 ページ参照)

### 色温度

ポイントボタンの左方向で色が赤みがかり、ポイントボタンの右方向で色が青みがかります。(超低/低/中/高)

### ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

### 画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりとなります。(0 から 15 まで)

### ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

### 白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

**肌色補正**

オンにすると肌色を美しく映します。

**3 リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

**メモリー**

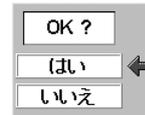
調整した画質を保存（イメージ 1~4）できます。ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）をポイントボタンの上下方向で選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押して登録します。

**戻る**

メニューを終了します。



メモリーアイコン  
ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。



イメージ調整データ登録メニュー  
登録したいイメージモードをポイントボタンの上下方向で選択し、SELECT または決定ボタンを押して登録します。

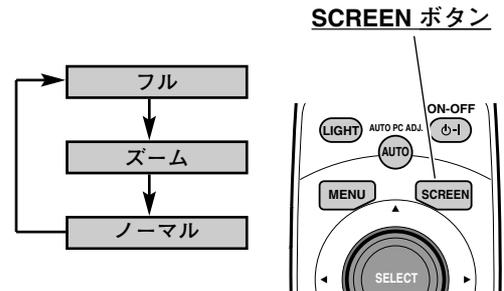
# 画面の表示モードを選択する

お好みにより、表示モードを 3 種類の中から選択できます。操作はリモコンの SCREEN ボタンまたは、メニューでできます。

リモコンでの操作

SCREEN ボタンを押すごとに表示モードが変わります。

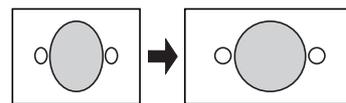
※メニューでの操作→次ページ参照。



**フル**

DVD プレーヤーなどのワイドモードで出力された映像信号 をアスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投映します。

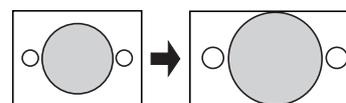
※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号（アスペクト比 16 : 9）が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。（30 ページ参照）



フル

**ズーム**

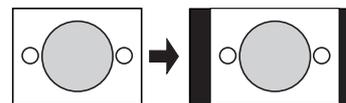
通常の映像の上下をのばして、アスペクト比（横：縦）16 : 9 のワイドサイズで投映します。



ズーム

**ノーマル**

通常の映像のアスペクト比（横：縦）4 : 3 で投映します。



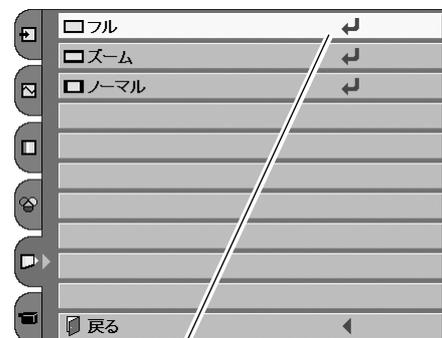
ノーマル

## ビデオ入力（ビデオを映す）

### メニューでの操作

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、ポイントボタンの上下方向で画面サイズを選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンで選択します。

### スクリーンメニュー



投影したい画面サイズを選択し、SELECT ボタンまたは決定ボタンを押します。

# コンピュータ入力 (コンピュータを映す)

## コンピュータ入力に切り換える

### INPUT ボタンで入力を切り換える

リモコンの INPUT または操作パネルの入力ボタンを押して、「コンピュータ」に切り換えます。

#### INPUT ボタン

コンピュータ

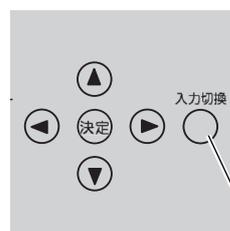
↑↓

ビデオ

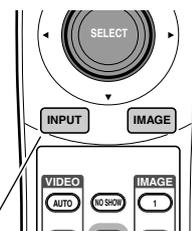
INPUT ボタンを押すことに切り換わります。

※表示は約 4秒間出ます。

操作パネル



リモコン



インプット ボタン

### 入力選択メニューで入力を切り換える

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、「コンピュータ」を選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。

入力選択メニュー



ポインタを「コンピュータ」へ移動し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。

# コンピュータシステムの選択

## システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

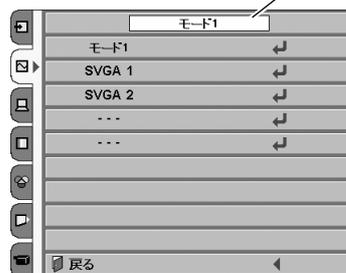
本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。（次ページ参照）

選択されたシステムモードは、システムメニュー内のサブメニューのシステムボックスに表示されます。

※ システムメニューのサブメニューには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システムボックス



### ● サブメニューに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。（37～39 ページ参照）

-----

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。（18～20 ページ参照）

## システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード\*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

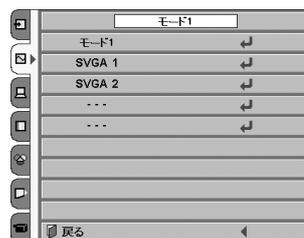
システムメニュー

1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でポイントをシステムメニューに合わせ、ポイントボタン右方向でサブメニュー内に入ります。

2 ポイントボタンの上下方向でいずれかのモードを選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押してください。

※カスタムモード（モード1～5で表示されたもの）：

お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。（39 ページ参照）



# コンピュータシステムの調整

## 自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。

### 自動 PC 調整

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの上下方向で PC 調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、自動 PC 調整の項目を選択しリモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押すと PC 調整画面が出ますので、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンをう一度押して自動調整してください。  
自動 PC 調整機能は、リモコンの AUTO PC ADJ. ボタンを押してもはたらきます。

※自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。

(次ページ参照)

※自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、39 ページのマニュアル PC 調整の手順 3 をごらんください。

※システムメニューで RGB、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

### PC 調整メニュー



ポイントボタンの右方向でサブメニューに入り、PC 調整の項目へ移動し、SELECT または決定ボタンを押します。

## マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードを登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードは5つまで登録することができます。

※システムモードが RGB のときは、PC 調整メニューは機能しません。

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向で PC 調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、調整したい項目を選択します。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。

### トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

### 総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

### 水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

### 垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

### コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

### クランプ

クランプ位置を調整します。

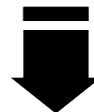
### PC調整メニュー



カスタムモードの登録状況 (データあり/データなし) を表示します。



カスタムモード



調整項目をポイントボタンの上下方向で選択します。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。



ポイントボタンの左右方向で値を調整し、SELECT または操作パネルの決定を押します。



次のページに移るときは、次への項目を選択しSELECT または決定ボタンを押します。



コンピュータ情報

水平周波数	31.5
垂直周波数	60.0

調整項目をポイントボタンの上下方向で選択し、右方向のボタンを押します。現在接続中のコンピュータの信号を表示します。

**画面領域**

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

**画面領域 H**

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

**画面領域 V**

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右方向でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

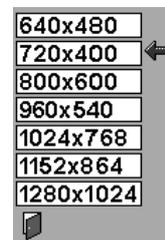
**フルスクリーン**

- オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投射します。
- オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

- ※画面領域および、画面領域H / Vを調整した後は、フルスクリーンの調整はできません。
- ※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」と「フルスクリーン」の調整はできません。
- ※システムメニューで 1035i (HDTV) や 1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」と「総ドット数」の調整が完全にはできません。(38 ページ参照)



調整項目をポイントボタンの上下方向で選択し、右方向のボタンを押します。解像度選択メニューが現われます。



**3 リセット**

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

**データ消去**

ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードをポイントボタンの上下方向で選択し、リモコンの SELECT または操作ボタンの決定ボタンを押します。

**メモリー**

ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) をポイントボタンの上下方向で選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押して登録します。

**戻る**

メニューを終了します。

PC 調整データ登録メニュー

既にカスタムモードが登録されています。



何も登録されていません。

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 V を表示します。

PC 調整データ消去メニュー



メニューを終了します。

# コンピュータシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。)  
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)
RGB	————	15.625	50.00 (インターレース)	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
RGB	————	15.734	60.00 (インターレース)	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	575p	————	31.25	50.00
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	720p	————	45.00	60.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	1035i	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	1080i60	————	33.75	60.00 (インターレース)
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	1080i50	————	28.125	50.00 (インターレース)
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03				

- ※ 本機は SXGA (1280x1024ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ 964x544ドット) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ XGA、SXGA、Mac16、Mac21、575p (HDTV)、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ ドットクロックが 100MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
- ※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

# イメージの調整

## IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すことに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。またはリモコンの IMAGE 1～4 ボタンを押し直接選択します。

### 標準

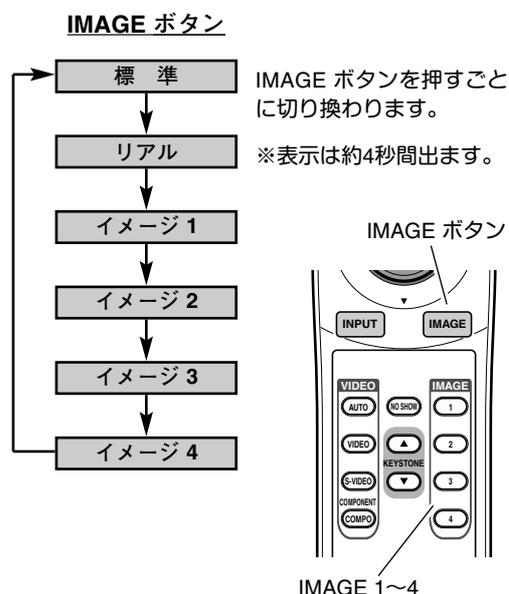
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

### リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

### イメージ 1～4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(下記参照)



## イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向でイメージ選択メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に下入り、お好みのイメージモードをポイントボタンの上下方向で選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンで選びます。

### イメージ選択メニュー



選択中の  
イメージモード

お好みのイメージモードをポイントボタンの上下方向で選択し、SELECT または決定ボタンで選びます。

### 標準

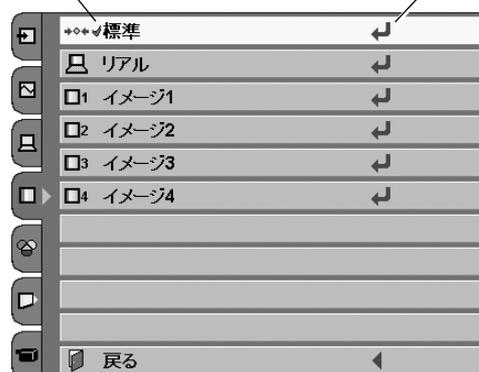
「コントラスト」「明るさ」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「白黒伸張」「肌色補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

### リアル

中間調の再現性が高くなります。写真等のグラフィックスを自然な階調で再現できるように設定します。

### 1 イメージ 1～4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(43 ページ参照)



## マニュアルでイメージ調整を行なう

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出しイメージ調整メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンで調整したい項目を選択します。  
調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。

### コントラスト

ポイントボタンの左方向でコントラストが薄くなり、ポイントボタンの右方向でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

### 明るさ

ポイントボタンの左方向で映像が暗くなり、ポイントボタンの右方向で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

### 色温度

ポイントボタンの左方向で色が赤みがかかり、ポイントボタンの右方向で色が青みがかかります。(超低/低/中/高)

### ホワイトバランス (赤・緑・青)

ポイントボタンの左方向で各色調は薄くなり、ポイントボタンの右方向で各色調は濃くなります。(各色 0 から 63 まで)

### 画質

ポイントボタンの左方向で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右方向で映像がくっきりとなります。(0 から 15 まで)

### ガンマ補正

ポイントボタンの左右方向で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。(0 から 15 まで)

### 白黒伸張

オンにすると映像の暗い部分や明るい部分のコントラストが強調され、見やすい画面となります。

### 肌色補正

オンにすると肌色を美しく映します。

### イメージ調整メニュー



次のページへいくには、ポイントボタンの上下で「次へ」の項目を選択し、リモコンでは SELECT 操作パネルでは決定を押します。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。左右ボタンで選択項目のみが表示されます。



ポイントボタンの左右方向で値を調整します。調整のあと、SELECT または決定ボタンを押すと、前の画面表示に戻ります。



### メモリーアイコン

ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向のボタンを押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

3  リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

 メモリー

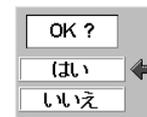
調整した画質を保存 (イメージ 1~4) できます。  
 ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。登録したいイメージモード (イメージ 1 から 4 までのいずれか) をポイントボタンの上下方向で選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押して登録します。

 戻る

メニューを終了します。



メモリーアイコン  
 ポイントボタンの上下方向で選択し、右方向を押すと、イメージ調整データ登録メニューが現れます。

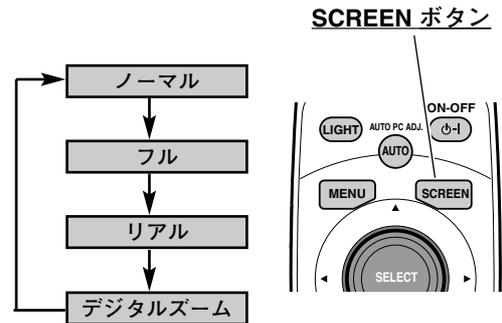


イメージ調整データ登録メニュー  
 登録したいイメージモードをポイントボタンの上下方向で選択し、SELECT または決定ボタンを押して登録します。

## 適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 964 x 544 ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。操作はリモコンの SCREEN ボタンまたは、メニューでできます。(リモコンはボタンを押すごとに画面サイズが変わります。)

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出し、ポイントボタンの上下方向で PC 調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、ポイントボタンの上下方向で選択したい機能の項目を選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。



### ノーマル

画像を有効な投映画面に合わせて投映します。

### フル

画像を有効投映画面の幅に合わせ、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。

### リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム」モードに入ります。

### デジタルズーム

「デジタルズーム」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.ZOOM」表示が現われます。リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押すごとに画像が拡大します。ポイントボタンの上下左右方向で画像を移動させます。画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面よりも大きいときのみはたります。

### スクリーンメニュー



ポイントボタンの右方向でサブメニューに入ります。



表示させたいサイズを選択し、SELECT または決定ボタンを押します。

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、SELECT、ポイント以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで 1035i (HDTV) ・ 1080i (HDTV) ・ 720p (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで RGB のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム」は選択できません。
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「D.ZOOM」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

## 各種セッティング

- 1 リモコンの MENU または操作パネルのメニューボタンを押してメインメニューを出しポイントボタンの上下方向で設定メニューのアイコンを選択します。
- 2 ポイントボタンの右方向でサブメニュー内に入り、上下ボタンで調整したい項目を選択します。  
調整は画面を見ながらポイントボタンの左右方向で行ないます。



### 言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、ハンガール語、日本語の 12か国語の中から選べます。



### キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。キーストーンを選択すると画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。ポイントボタンの上下方向で画面の台形ひずみを補正します。(26 ページ参照)



### ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



### オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (27 ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
- ・パワーマネージメントモード時のタイマー表示 (次ページ参照)
- ・自動PC調整時の「しばらくお待ちください」の表示



### メニュー位置

メニューの表示される位置を調整する機能です。ポイントボタンの上下・左右方向で好みの位置に表示させることができます。

### セッティングメニュー



ポイントボタンの右方向でサブメニューに入ります。

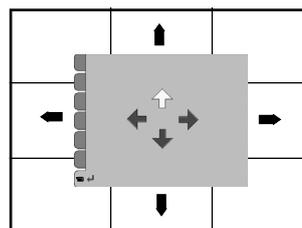


ポイントボタンの上下方向で調整したい項目を選択し、右方向や SELECT または決定ボタンを押します。



言語調整メニューはサブメニューで選択してから、右方向のポイントボタンを押すと、言語メニューが現われます。

### 表示画面



この範囲で動きます

## 各種セッティング

### ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。

### 天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。  
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

### パワーマネジメント

入力信号がなく、プロジェクターが操作されない状態が 5分 30秒続くと、ランプを消灯する機能です。

オン・・・無信号と無操作の状態が 30 秒続くと、ランプ画面に「入力信号なし」とタイマーの表示が現われ、この後無信号と無操作が 5 分間続くとランプが消灯し、パワーマネジメントモードになります。  
(パワーマネジメント機能とそのはたらきについて、詳しくは 24 ページをごらんください。)

オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

### 電源オフ確認

この機能を「オフ」にすると、電源を切るときに画面に「もう一度押すと電源が切れます」の表示を出さずに、リモコンは ON-OFF 操作パネルでは電源ボタンを一度押すだけで電源が切れるように設定します。(24 ページ参照。)

### ランプモード

シアターブラックモードとブライトモードを選択します。

 明るい表示・・・ブライトモード

 上部がグレーの表示・・・シアターブラックモード

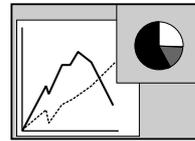
※ ポイントボタンを押す度に、ランプモードの表示が切り替わります。

※ シアターブラックモード：  
明るさはブライトモードの約 80 %になります

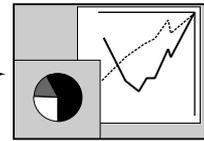
映画を最適な画面で視聴するモードで、このモードにすると、画面の明るさを抑さえ、プロジェクターが静音モードで動作します。また、ランプが低消費電力モードとなります。

### 天吊り機能

オフ (通常の画像)

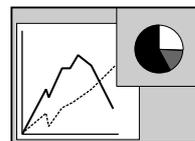


オン (天吊り設定時)

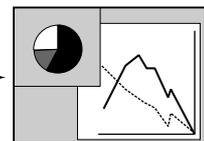


### リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)



↑  
ランプ消灯までの時間



電源オフ確認  
ランプモード

サブメニューに入り、それぞれの項目を選択します。左右のボタンでモードを切替えます。

**リモコンコード**

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作させることができます。工場出荷時は「コード 2」に設定されており、2台目のプロジェクター用 (拡張用) として「コード 1」に設定することができます。本機を2 台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

コード 1・・・ 2 台目のプロジェクター用 (拡張用) に使用します。

コード 2・・・ 1 台目のプロジェクター用に使用します。

※ 本機 (プロジェクター) を「コード 1」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 1」に切り換える必要があります。リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を 10 秒以上押しと、リモコン本体のコードが「コード 1」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。リモコン本体のコードを「コード 2」に戻すときは、前述と同じ手順を行ないます。またはリモコンの電池交換を行なうと、リモコン本体のコードが「コード 2」に戻ります。

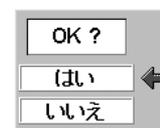
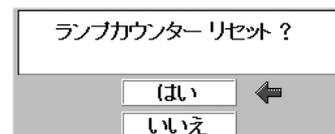
**ランプカウンターリセット**

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットするとランプ交換インジケータ (黄) の点灯が消えます。

**注意** 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。リモコンの MENU または操作ボタンのメニューボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの上下方向でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。右方向でサブメニューに入ります。
- 2 ポイントボタンの下方向でポインタを「ランプカウンターリセット」の項目を選択し、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下方向で **はい** にポインタを合わせ、リモコンの SELECT または操作パネルの決定ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

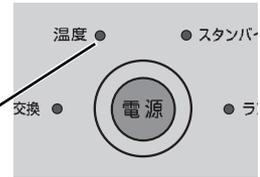
ランプカウンターリセット



## 内部の温度上昇について

### 温度インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると温度インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れます。温度が下がるとインジケータの点滅は消えます。温度インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。



#### ここを確認してください

- ・ 底面の吸気口のエアフィルターにホコリがたまっていますか。フィルターを掃除してください。
- ・ 前面および底面の吸気口や後面の排気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

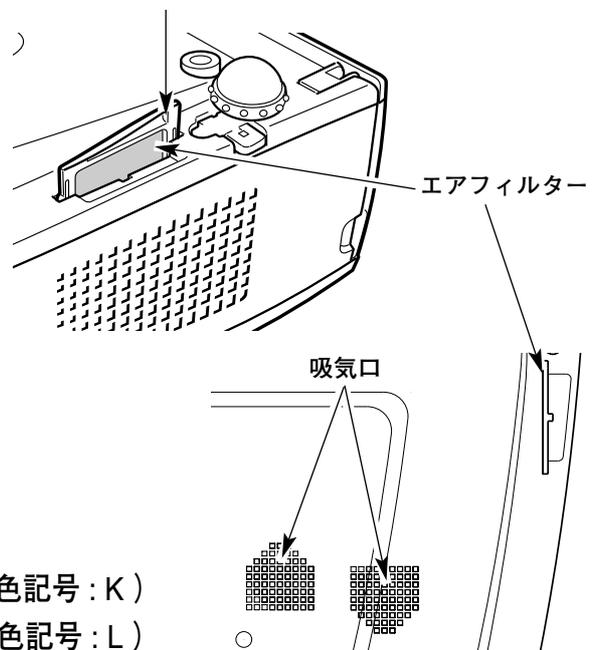
電源を入れるときは、温度インジケータの点滅が消えていることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再びインジケータが点滅して電源が切れます。

### エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。  
掃除は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターの右端のツメを上へ引き上げて、エアフィルターを外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

ツメを上へ引き上げて取り外します。



エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター (別売) は、お買い上げの販売店にご相談ください。

吸気口周辺も掃除機などでホコリを取り除いてください。

取り替え用エアフィルターの品番： 610 302 4868 (色記号：K)  
610 304 0707 (色記号：L)

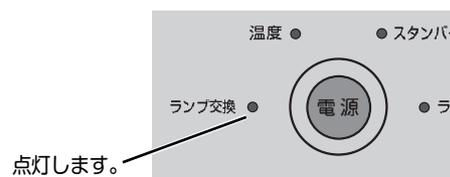
#### ●お掃除の際にご注意ください●

- ・ エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・ エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・ エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

# 光源ランプの交換

## ランプ交換インジケータの点灯

光源に使われているランプの寿命が近づくとランプ交換インジケータ (黄) が点灯します。はやめに新しいランプと交換をしてください。ランプ交換インジケータは、ランプを交換するまで電源「ON」(入) のときに点灯します。



## 光源ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

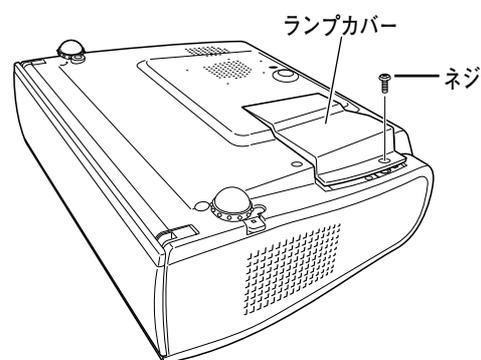
- ・交換ランプの品番：POA-LMP54 (サービス部品コード：610 302 5933)
- ・プロジェクターの品番：LP-Z1



## 注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、45分以上冷却してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

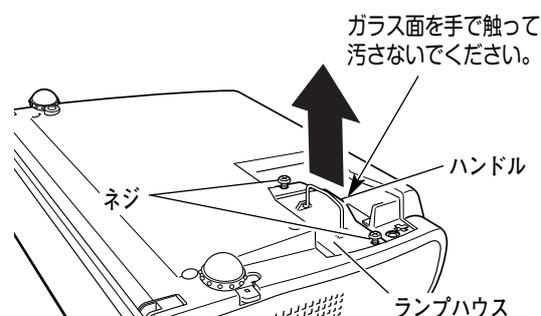
- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで1本ネジを外し、ランプカバーを外します。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



## ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットするとランプ交換インジケータ(黄)の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、47 ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。



## ⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（ランプ交換インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。

### ⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または当社サービスステーションへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

### ⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

# 正しくお使いいただくために

## お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

### ● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、スライドモーションドアを閉めて保管してください。

### ● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

### ● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

### ● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

### ● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

### ● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは 48 ページを参照)

## 故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードは接続されていますか。</li> <li>● 主電源は ON になっていますか？</li> <li>● 電源は入っていますか。電源ボタンを押してみてください。</li> <li>● スタンバイインジケータ&lt;緑&gt;が消えているときは、電源ボタンを押しても電源が入りません。(23、24 ページ参照)</li> <li>● 温度インジケータ&lt;赤&gt;が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、電源ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。(48 ページ参照)</li> <li>● スライドモーションドアは開いていますか？</li> </ul>
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。(19～20 ページ参照)</li> <li>● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(23 ページ参照)</li> <li>● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(29、30、35、36 ページ参照)</li> <li>● 使用温度範囲 (5℃～35℃) からはずれていませんか。</li> <li>● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。</li> <li>● 映像の選択は正しく行なわれていますか。入力ボタンを押してみてください。</li> </ul>
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(25 ページ参照)</li> <li>● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(12 ページ参照)</li> <li>● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(14、26 ページ参照)</li> <li>● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。</li> </ul>
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(16 ページ参照)</li> <li>● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(16 ページ参照)</li> <li>● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(17 ページ参照)</li> <li>● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。</li> <li>● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(16 ページ参照)</li> <li>● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(47 ページ参照)</li> </ul>

## インジケータ表示とプロジェクターの状態

インジケータでプロジェクターの状態をお確かめください。

インジケータ	プロジェクターの状態	
ランプ	 赤く点灯	プロジェクター OFF。 主電源は入っていますが動作はしていません。
	 赤が暗く点灯	プロジェクターは動作中です。
	 消灯	プロジェクターの電源が切れています。(主電源スイッチが切れているか、電源コードが抜けています)
スタンバイ	 緑に点灯	操作パネルの電源ボタンまたは、リモコンの ON-OFF ボタンを押し、プロジェクターを始動することができます。
	 緑の点滅	パワーマネージメントモードが働いています。
	 消灯	ランプが点灯中はプロジェクターが冷却中か、スライドモーションドアが閉じています。“ランプ”も消灯の時は主電源スイッチが切れているか、電源コードが抜けています。
温度 (48 ページ参照)	 赤く点滅	本機内部の温度が高くなっています。温度が下がると点滅は消えます。 点滅が消えるまでプロジェクターの電源は入りません。
	 消灯	正常に動作中です。
ランプ交換 (49 ページ参照)	 黄色に点灯	ランプを交換してください。
	 消灯	プロジェクターは正常に動作中です。

## 仕 様

## プロジェクター本体

種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：0.7型ワイド 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：ポリシリコンTFT アクティブマトリクス方式 画素数：1,573,248 画素 { 524,416 ( 横964 × 縦544 ) × 3 }
投映レンズ	1~1.2 倍手動ズームレンズ F=2.03 ~ 2.34 f=21.2 ~ 25.4 mm
光源ランプ	高輝度 130W UHPランプ
ズーム調整	手動式
フォーカス調整	手動式
コンピュータ入力	●コンピュータ入力 (1系統) アナログRGB入力：ミニD-sub 15ピン
ビデオ入力	●ビデオ入力 (1系統) 映像/Y：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb/Cb：ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr/Cr：ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号；ミニDIN 4ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω
制御入出力、他	●サービスポート：ミニDIN 8ピン
走査周波数	水平 15~80KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	210W (リモコンで電源を切ったとき 12W)
本体寸法	幅33.3×高さ10.85×奥行24.65cm (突起部含まず)
質 量	3.4Kg

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99%以上です。投映中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

## リモコン

- 電 源 . . . . . DC1.5V 単三アルカリ乾電池 2個使用  
到達距離 . . . . . 約5m (受信部正面)  
本体寸法 . . . . . 幅47×高さ30×奥行159mm  
質 量 . . . . . 125g (電池を含む)

## 付属品

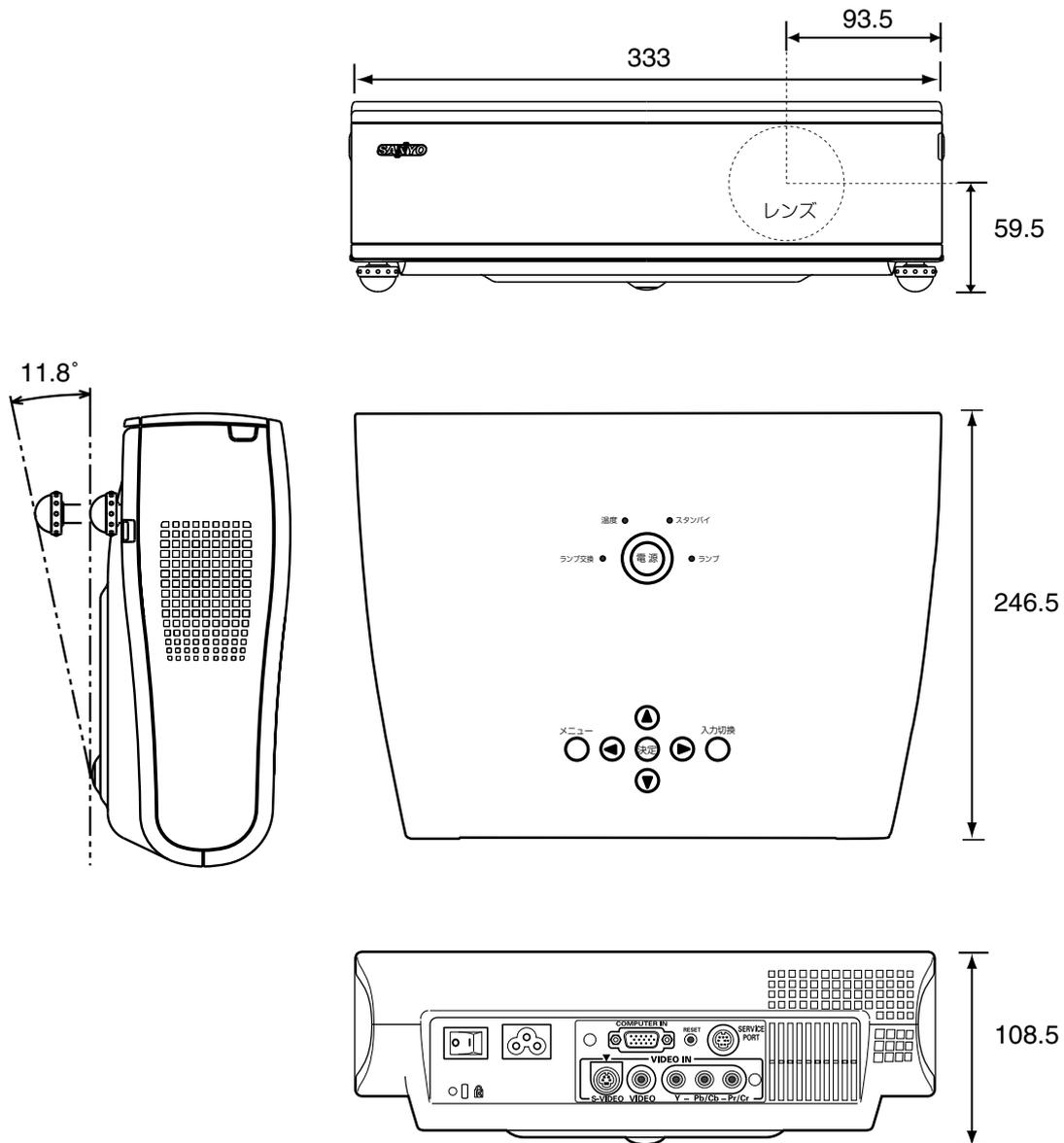
- ・リモコン 1個
- ・リモコン用 単三型アルカリ乾電池 2 個
- ・電源コード 1本
- ・ビデオケーブル 1本
- ・取扱説明書
- ・保証書
- ・ユーザー登録カード (はがき)

## 別売品

- 低天井用天吊金具 . . . . . 品番 : POA-CHS-US01
- 天吊金具用ベース金具 . . . . . 品番 : POA-CHB-Z1
- 16 : 9 タイプ 80 型スクリーン . . . . . 品番 : POA-LCV-80HA
- 16 : 9 タイプ 100 型スクリーン . . . . . 品番 : POA-LCV-100HA
- コンポーネント信号ケーブル (10 m) . . . . . 品番 : POA-CA-COMP10

※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。  
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図



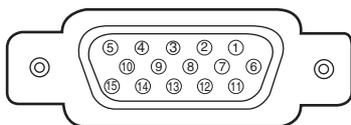
単位：mm

## 端子の仕様

### COMPUTER IN ANALOG (コンピュータ アナログ入力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 出力を接続する端子です。接続には、DOS/V用コンピュータ接続ケーブル (別売) をご使用ください。マッキントッシュコンピュータを接続するときは、Mac変換アダプタ (別売) が別途必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ミニ D-sub 15ピン



1	R	9	空き
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	接地
4	空き	12	空き
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	予備
8	接地 (B)		

#### ● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# お客さまご相談窓口

## ■まずはお買い上げの販売店へ...

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の修理相談窓口にお問い合わせください。

## 家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口>

受付時間：9：00～17：00 まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎ (011)290-1522    | ◆近畿・四国地区 大阪 ☎ (06)6994-9570 |
| ◆東北地区 仙台 ☎ (022)714-6137     | ◆中国地区 広島 ☎ (082)297-6067    |
| ◆関東地区 東京 ☎ (03)3815-1111     | ◆九州・沖縄地区 福岡 ☎ (092)263-7629 |
| ◆中部・北陸地区 名古屋 ☎ (052)533-5245 |                             |

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機（株）お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5

FAX (06) 6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

## 修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋電機サービス（株）

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]

土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

### 出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター 東京 ☎ (03)5302-3401

西日本コールセンター 大阪 ☎ (06)4250-8400

関東・甲信越・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

### 東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区 札幌 ☎ (011)833-7888

◆東北地区 仙台 ☎ (022)382-2213

### 西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区 金沢 ☎ (076)237-6650

◆中部地区 名古屋 ☎ (052)459-3456

◆中国地区 広島 ☎ (082)293-9333

◆四国地区 高松 ☎ (087)844-8321

◆九州地区 福岡 ☎ (092)922-6111

◆沖縄地区 沖縄 ☎ (098)944-5018

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品購入」については、各地区サービスセンターで承っております。

北海道地区	関東地区	近畿地区
<b>北海道</b> <b>札幌</b> ☎ (011)831-9201 <small>〒003-0013 札幌市白石区中央3条4-1-36</small> <b>函館</b> ☎ (0138)48-8301 <small>〒041-0824 函館市西栢梗589-295</small> <b>苫小牧</b> ☎ (0144)33-3421 <small>〒053-0042 苫小牧市三光町2-2-5</small> <b>旭川</b> ☎ (0166)22-2421 <small>〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3</small> <b>北見</b> ☎ (0157)23-4871 <small>〒090-0037 北見市山下町4-7-14</small> <b>釧路</b> ☎ (0154)22-1576 <small>〒085-0021 釧路市浪花町7-7</small>	<b>茨城県</b> <b>水戸</b> ☎ (029)251-4125 <small>〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1</small> <b>つくば</b> ☎ (0298)64-4751 <small>〒300-3261 つくば市花畑2-15-3</small> <b>山梨県</b> <b>甲府</b> ☎ (055)226-2561 <small>〒400-0035 甲府市飯田4-9-14</small> <b>新潟県</b> <b>新潟</b> ☎ (025)285-2431 <small>〒950-0971 新潟市近江244</small> <b>長岡</b> ☎ (0258)24-0705 <small>〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46</small> <b>上越</b> ☎ (0255)43-3535 <small>〒942-0074 上越市石橋2-2-9</small>	<b>京都府</b> <b>京都</b> ☎ (075)672-0877 <small>〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41</small> <b>福知山</b> ☎ (0773)27-3458 <small>〒620-0856 福知山市土師宮町1-66</small> <b>滋賀県</b> <b>大津</b> ☎ (077)545-4221 <small>〒520-2134 大津市瀬田1-1-5</small>
東北地区	中部地区	四国地区
<b>青森県</b> <b>青森</b> ☎ (017)729-3401 <small>〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5</small> <b>八戸</b> ☎ (0178)28-9225 <small>〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5</small> <b>秋田県</b> <b>秋田</b> ☎ (018)862-6551 <small>〒010-0925 秋田市旭南3-2-67</small> <b>岩手県</b> <b>盛岡</b> ☎ (019)635-0136 <small>〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6</small> <b>山形県</b> <b>山形</b> ☎ (023)641-1769 <small>〒990-2432 山形市荒橋町1-21-30</small> <b>宮城県</b> <b>仙台</b> ☎ (022)384-0444 <small>〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8</small> <b>福島県</b> <b>郡山</b> ☎ (024)945-6793 <small>〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7</small>	<b>愛知県</b> <b>名古屋</b> ☎ (052)451-3161 <small>〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10</small> <b>岡崎</b> ☎ (0564)23-3418 <small>〒444-0065 岡崎市柿田町1-2</small> <b>静岡県</b> <b>静岡</b> ☎ (054)261-4151 <small>〒420-0813 静岡市長沼885</small> <b>沼津</b> ☎ (055)963-1000 <small>〒410-0861 沼津市真砂町3-1</small> <b>浜松</b> ☎ (053)461-8685 <small>〒435-0016 浜松市和田町795-2</small> <b>長野県</b> <b>松本</b> ☎ (0263)26-1107 <small>〒390-0835 松本市高宮東1-35</small> <b>長野</b> ☎ (026)299-9501 <small>〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2</small> <b>岐阜県</b> <b>岐阜</b> ☎ (058)246-3417 <small>〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋1-35</small> <b>三重県</b> <b>津</b> ☎ (059)228-8126 <small>〒514-0838 津市岩田町10-3</small> <b>石川県</b> <b>金沢</b> ☎ (076)237-7811 <small>〒920-0062 金沢市割出町627</small> <b>富山県</b> <b>富山</b> ☎ (076)422-7020 <small>〒939-8211 富山市二口町1-13-8</small> <b>福井県</b> <b>福井</b> ☎ (0776)22-6082 <small>〒918-8231 福井市間屋町1-17</small>	<b>香川県</b> <b>四国</b> ☎ (087)843-1840 <small>〒761-0104 高松市高松町2175-10</small> <b>愛媛県</b> <b>松山</b> ☎ (089)971-3342 <small>〒791-8036 松山市高岡町148-1</small> <b>高知県</b> <b>高知</b> ☎ (088)860-0229 <small>〒781-5106 高知市介良乙1044</small> <b>徳島県</b> <b>徳島</b> ☎ (088)699-4131 <small>〒771-0219 板野郡松茂町奄木野字八北開拓150-2</small>
中国地区	九州地区	近畿地区
<b>広島県</b> <b>広島</b> ☎ (082)293-6511 <small>〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5</small> <b>福山</b> ☎ (084)925-3455 <small>〒720-0077 福山市南本庄3-1-48</small> <b>岡山県</b> <b>岡山</b> ☎ (086)245-1634 <small>〒700-0973 岡山市下中野703-101</small> <b>島根県</b> <b>松江</b> ☎ (0852)23-1183 <small>〒690-0017 松江市西津田4-1-14</small> <b>山口県</b> <b>山口</b> ☎ (083)973-3391 <small>〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町2-6</small> <b>鳥取県</b> <b>鳥取</b> ☎ (0857)24-2930 <small>〒680-0843 鳥取市南吉方3-107</small>	<b>福岡県</b> <b>福岡</b> ☎ (092)928-3414 <small>〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1</small> <b>北九州</b> ☎ (093)521-5286 <small>〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28</small> <b>久留米</b> ☎ (0942)21-3534 <small>〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2</small> <b>長崎県</b> <b>長崎</b> ☎ (095)824-5628 <small>〒850-0012 長崎市本河内町3-21-43</small> <b>佐世保</b> ☎ (0956)31-7635 <small>〒857-1162 佐世保市御本町17-1</small> <b>熊本県</b> <b>熊本</b> ☎ (096)357-1122 <small>〒861-4106 熊本市南高江3-2-88</small> <b>大分県</b> <b>大分</b> ☎ (097)543-3454 <small>〒870-0822 大分市大道町3-4-32</small> <b>宮崎県</b> <b>宮崎</b> ☎ (0985)29-3441 <small>〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883</small> <b>鹿児島県</b> <b>鹿児島</b> ☎ (099)251-4615 <small>〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10</small>	<b>大阪府</b> <b>大阪南</b> ☎ (06)6761-4600 <small>〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F</small> <b>大阪東</b> ☎ (0729)65-1811 <small>〒578-0903 東大阪市今米2-3-29</small> <b>大阪</b> ☎ (06)6992-6235 <small>〒570-0086 守口市竹町4-13</small> <b>阪和</b> ☎ (072)221-8571 <small>〒590-0959 堺市大町西3-1-16</small> <b>奈良県</b> <b>奈良</b> ☎ (0744)22-7888 <small>〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31</small> <b>兵庫県</b> <b>阪神</b> ☎ (06)6432-3401 <small>〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6</small> <b>神戸</b> ☎ (078)651-3951 <small>〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11</small> <b>姫路</b> ☎ (0792)96-2141 <small>〒670-0981 姫路市西庄字八町108</small> <b>洲本</b> ☎ (0799)22-2702 <small>〒656-0101 洲本市納字横竹308-1</small> <b>和歌山県</b> <b>和歌山</b> ☎ (073)436-3110 <small>〒641-0006 和歌山市中島369</small>
近畿地区	九州地区	沖縄地区
<b>東京都</b> <b>城北</b> ☎ (03)3958-1261 <small>〒173-0021 板橋区弥生町72-5</small> <b>城东</b> ☎ (03)3607-3191 <small>〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15</small> <b>江東</b> ☎ (03)3685-8166 <small>〒136-0071 江東区亀戸1-8-6</small> <b>城南</b> ☎ (03)3421-5171 <small>〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3</small> <b>城西</b> ☎ (03)3376-3361 <small>〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13</small> <b>府中</b> ☎ (042)364-7721 <small>〒183-0045 府中市美好町2-3-1</small> <b>栃木県</b> <b>宇都宮</b> ☎ (028)653-2811 <small>〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12</small> <b>群馬県</b> <b>高崎</b> ☎ (027)362-1151 <small>〒370-0001 高崎市中尾町池の内441</small> <b>太田</b> ☎ (0276)22-7702 <small>〒373-0015 太田市東新町72-2</small> <b>神奈川県</b> <b>横浜</b> ☎ (045)827-2831 <small>〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14</small> <b>平塚</b> ☎ (0463)55-3926 <small>〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4</small> <b>相模原</b> ☎ (042)742-2272 <small>〒228-0805 相模原市豊町17-11</small> <b>埼玉県</b> <b>大宮</b> ☎ (048)664-2319 <small>〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30</small> <b>坂戸</b> ☎ (049)284-8900 <small>〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17</small> <b>千葉県</b> <b>千葉</b> ☎ (043)241-7311 <small>〒260-0025 千葉市中央区間屋町5-20</small> <b>鎌ヶ谷</b> ☎ (047)441-0111 <small>〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59</small>	<b>福岡県</b> <b>福岡</b> ☎ (092)928-3414 <small>〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1</small> <b>北九州</b> ☎ (093)521-5286 <small>〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28</small> <b>久留米</b> ☎ (0942)21-3534 <small>〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2</small> <b>長崎県</b> <b>長崎</b> ☎ (095)824-5628 <small>〒850-0012 長崎市本河内町3-21-43</small> <b>佐世保</b> ☎ (0956)31-7635 <small>〒857-1162 佐世保市御本町17-1</small> <b>熊本県</b> <b>熊本</b> ☎ (096)357-1122 <small>〒861-4106 熊本市南高江3-2-88</small> <b>大分県</b> <b>大分</b> ☎ (097)543-3454 <small>〒870-0822 大分市大道町3-4-32</small> <b>宮崎県</b> <b>宮崎</b> ☎ (0985)29-3441 <small>〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883</small> <b>鹿児島県</b> <b>鹿児島</b> ☎ (099)251-4615 <small>〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-10</small>	<b>沖縄県</b> <b>沖縄</b> ☎ (098)944-5018 <small>〒903-0103 沖縄県西原町小那覇1303          沖縄三洋販売(株) サービス部</small>

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

# 保証とアフターサービス

## ■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

## ■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。  
(ただし、光源ランプは6ヶ月です)

## ■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

## ■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

## ■修理を依頼される前に

52ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

## ■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

## ■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

<b>愛情点検</b>	<b>●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！</b>	<small>熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。</small>
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源スイッチを入れても映像が出ない。</li><li>● 映像が時々消えることがある。</li><li>● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。</li><li>● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。</li><li>● 内部に水や異物が入った。</li><li>● その他異常や故障がある。</li></ul>	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグははずして、必ず販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ	
品番	LP-Z1
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

## 三洋電機株式会社

AVソリューションズカンパニー  
プロジェクタビジネスユニット 国内企画部  
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1